

第5回
アニメGP
歴代ベスト1作品
受賞記念

カリ城
リクエストBOOK

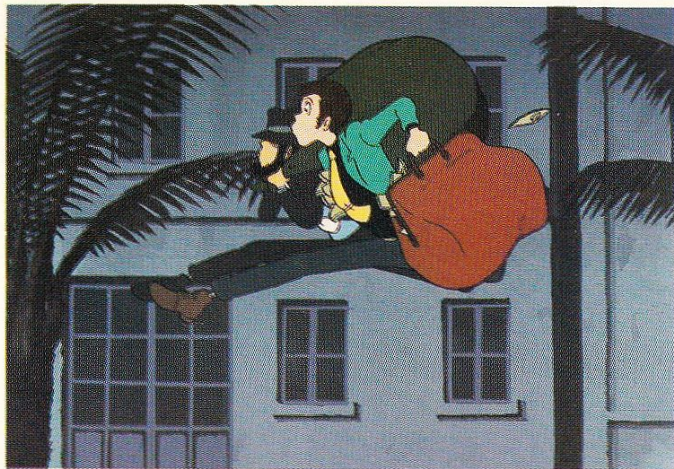
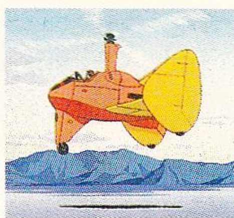
★おまけ／その他の「ルパン」

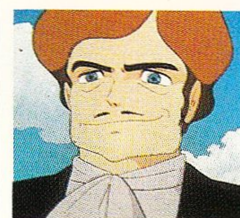
戦い、その目的はさまざまである。そして、ここに、
あまりにもバカバカしい戦いがあった。

SPAGHETTI WARS



「ルパン三世・カリオストロの城」より

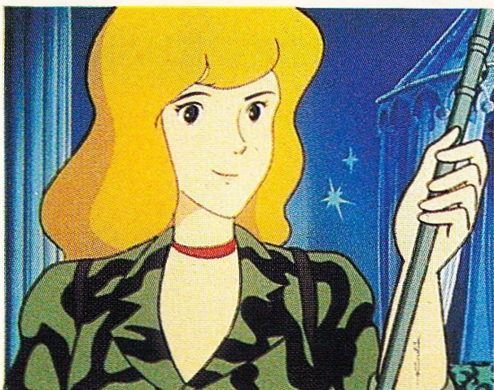



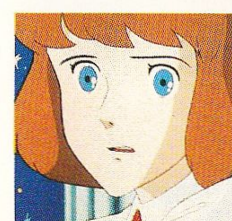


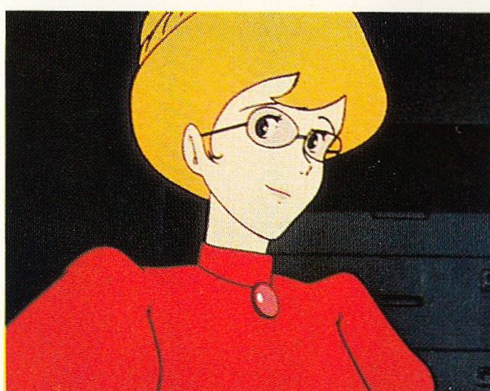


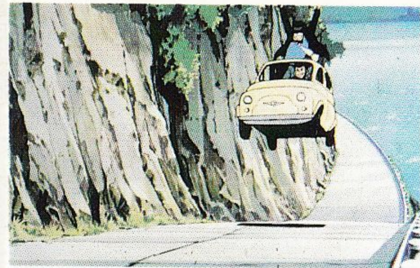
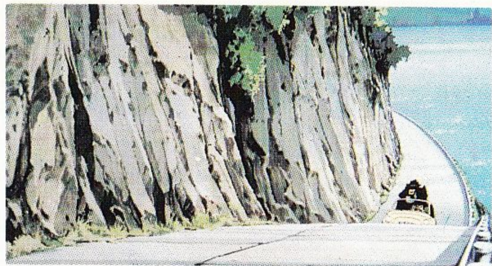


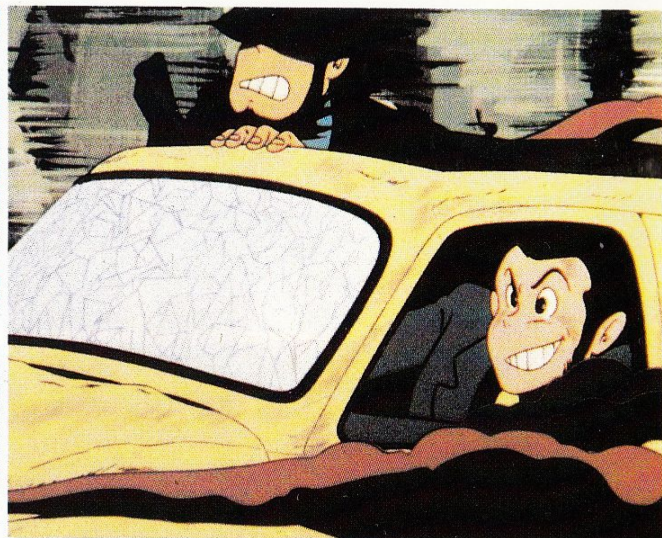


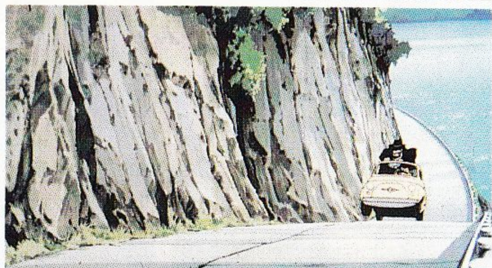
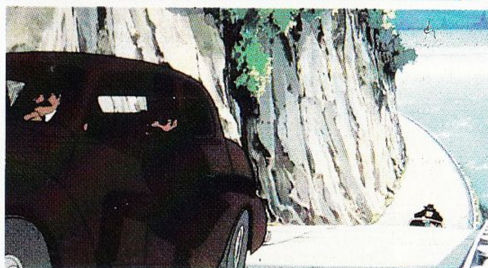
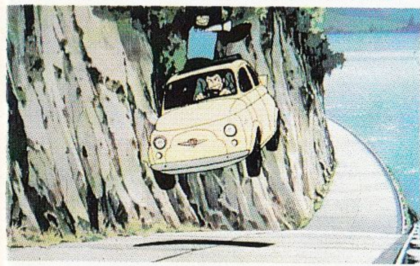
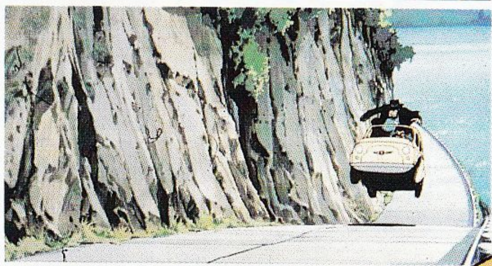
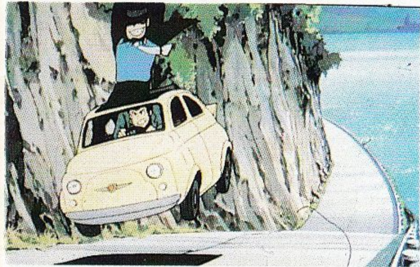
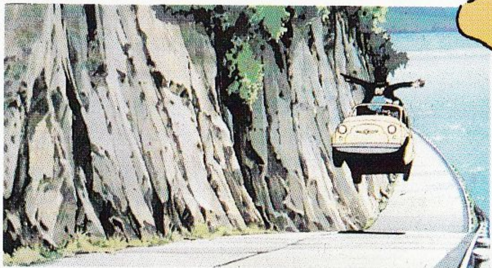
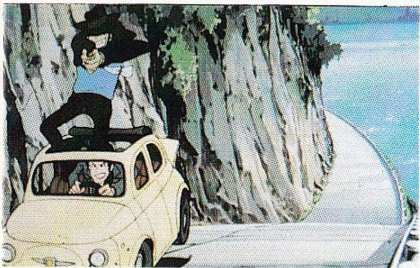


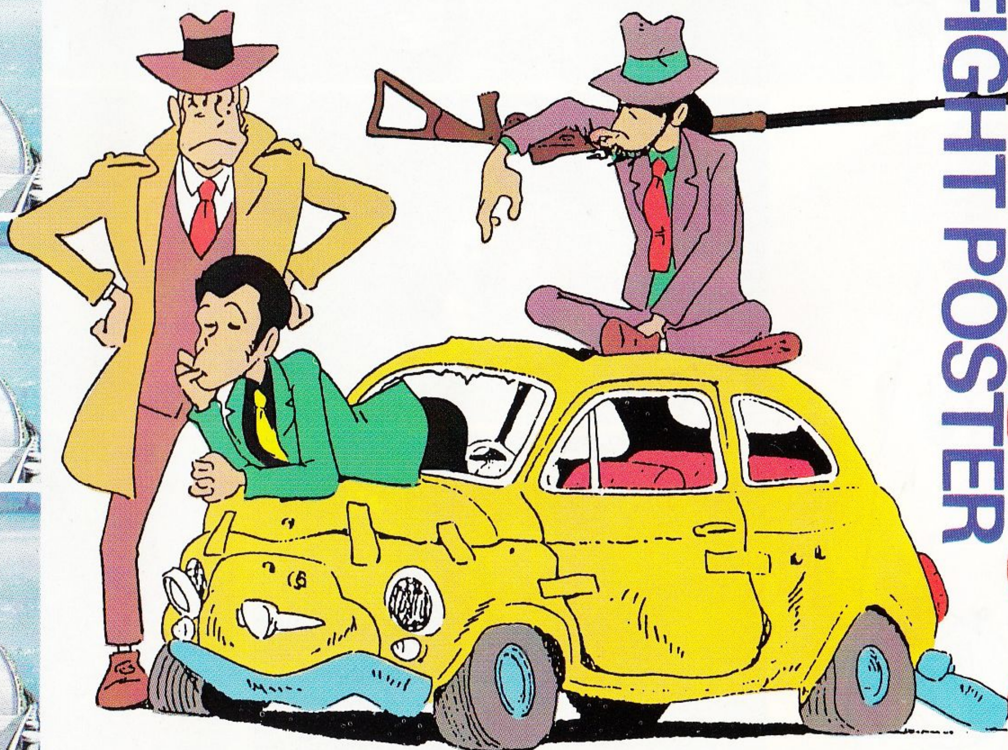

ルパン三世
カリオストロの城
SEAL


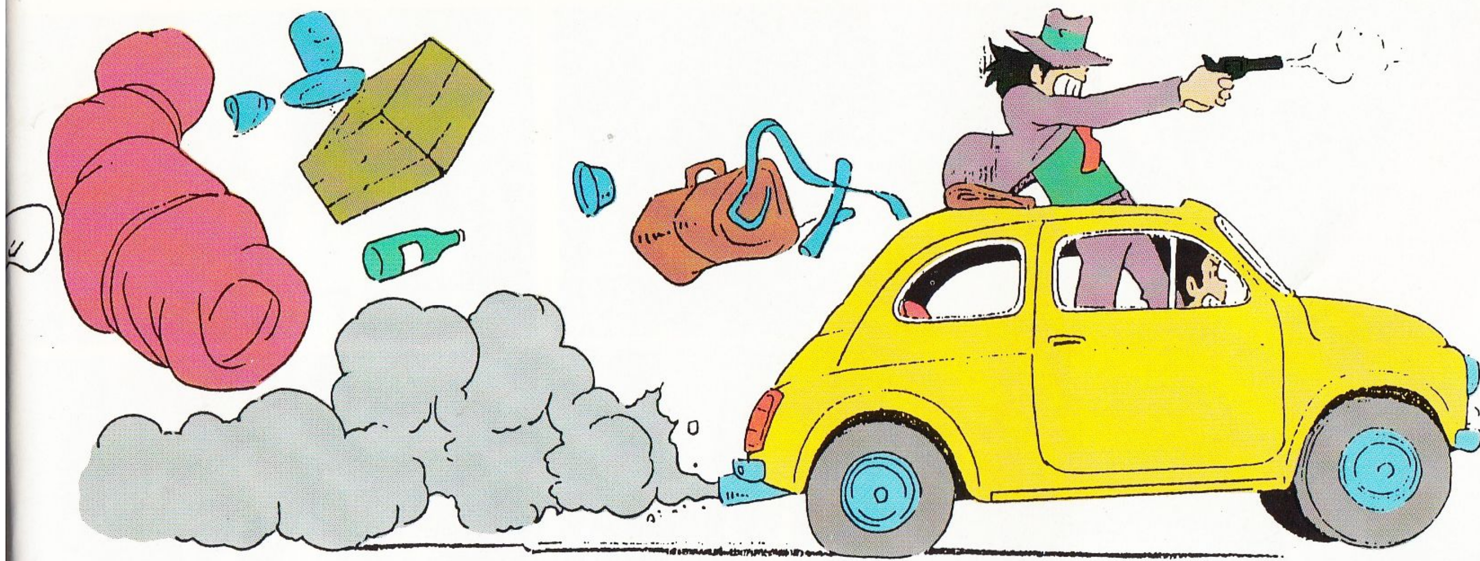




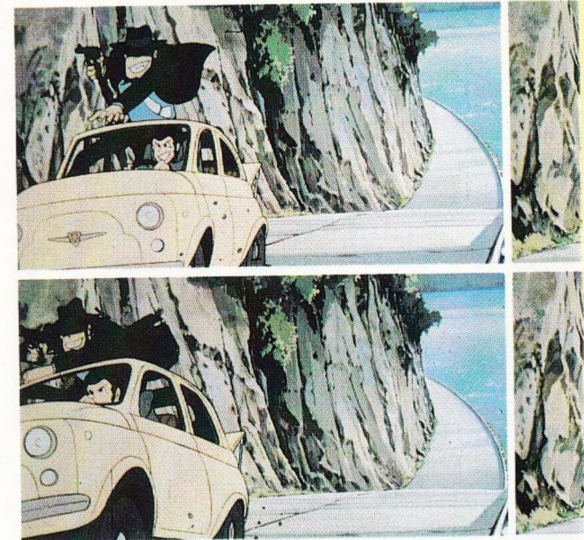


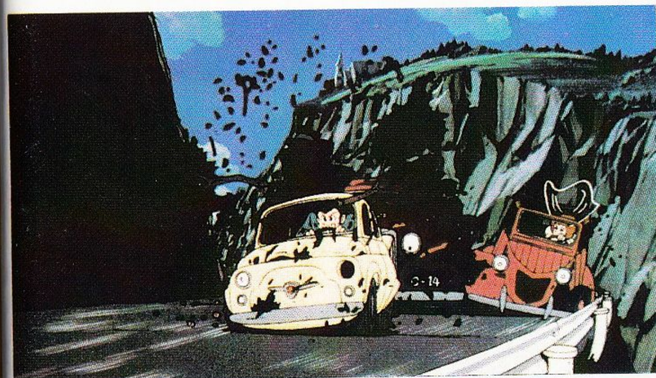








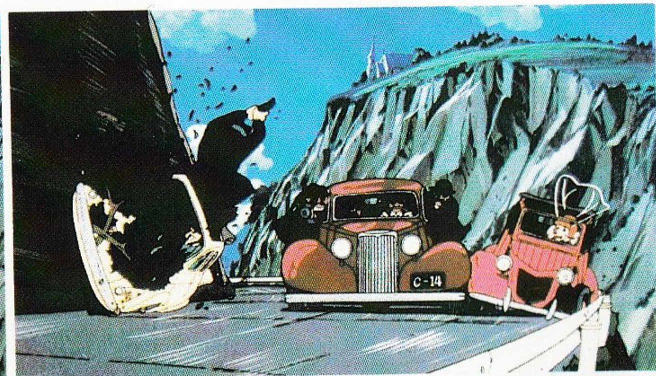


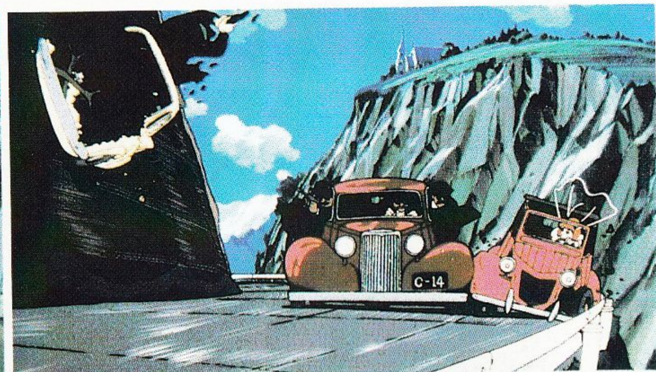
FIAT500
FIGHT POSTER

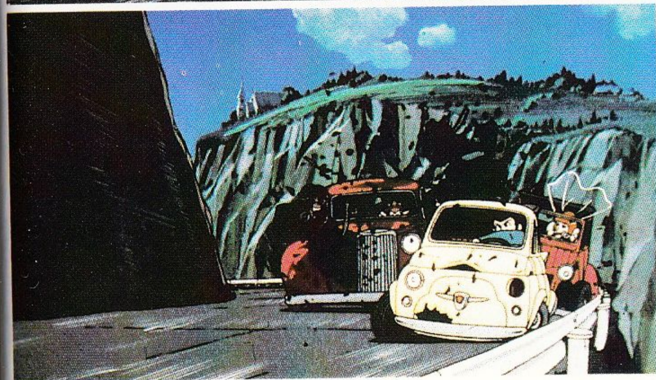


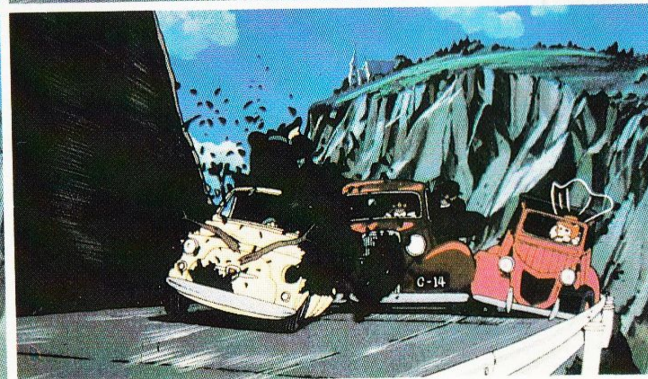


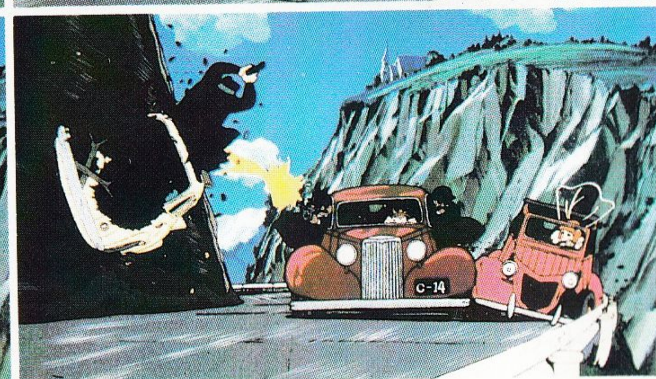

C-14


C-14

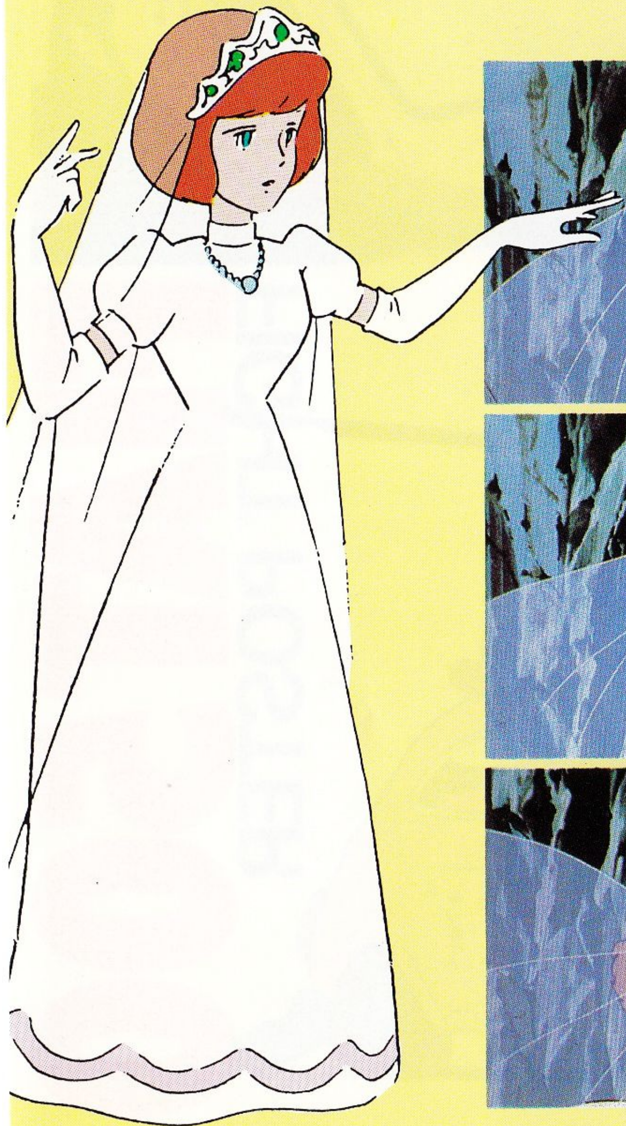

C-14

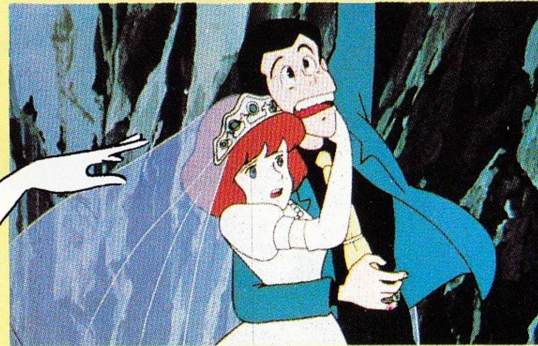



C-14


C-14

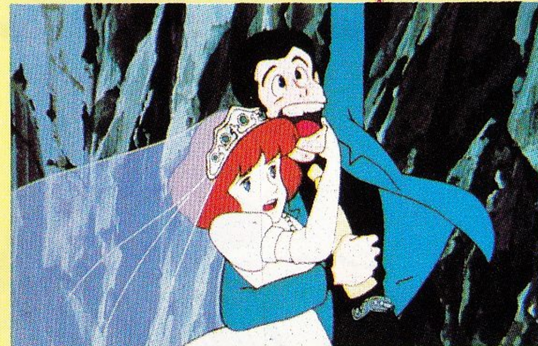
CLARISSE DE CAGLIOST











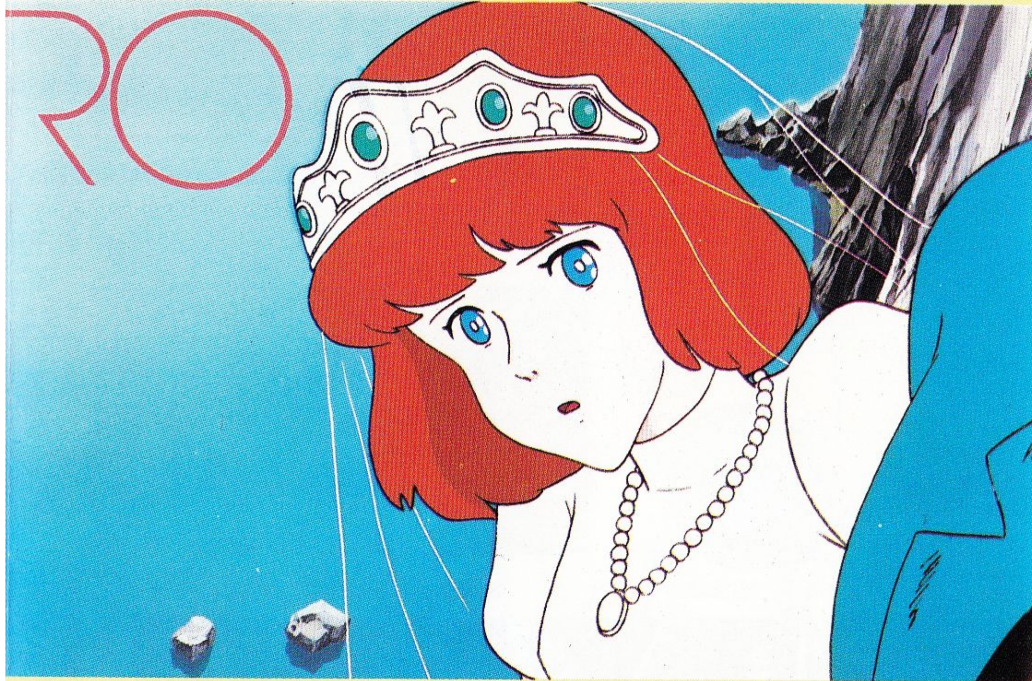











RO



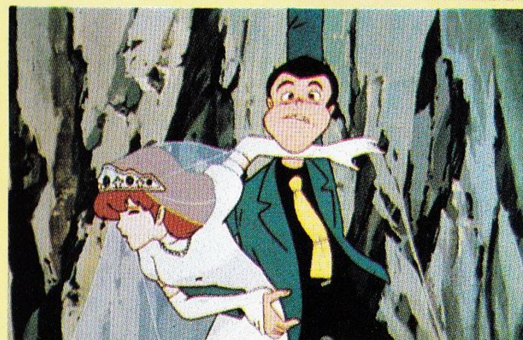


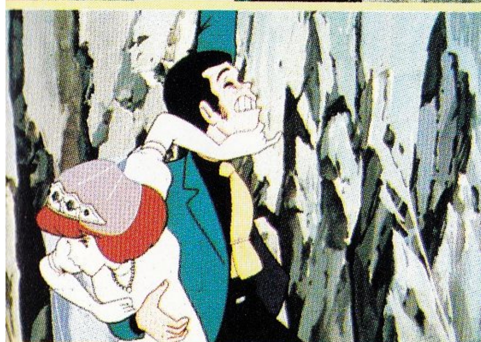


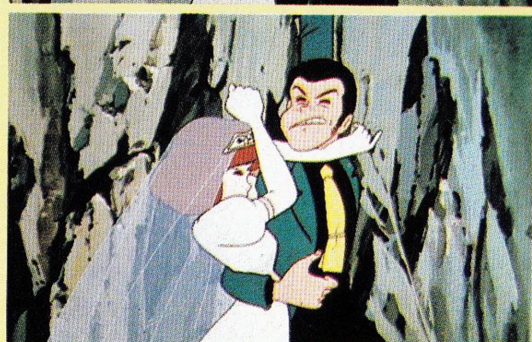












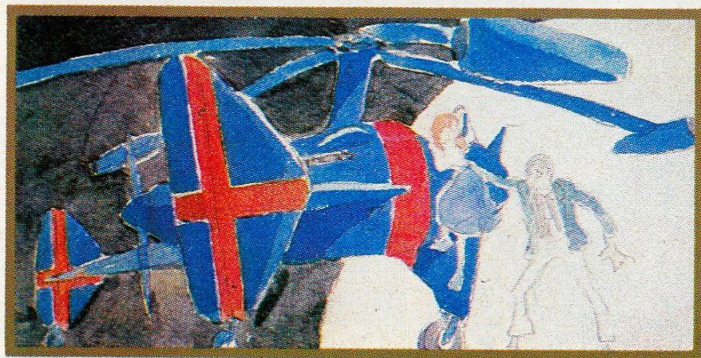


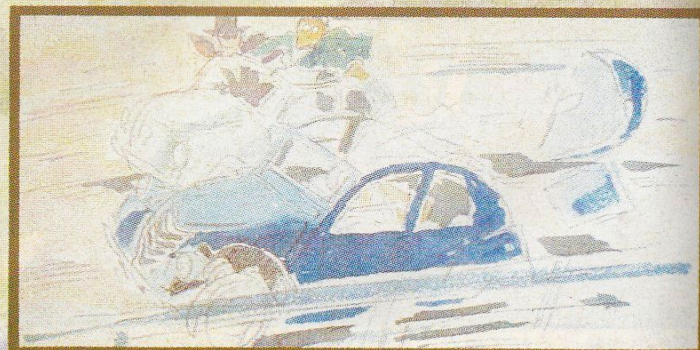


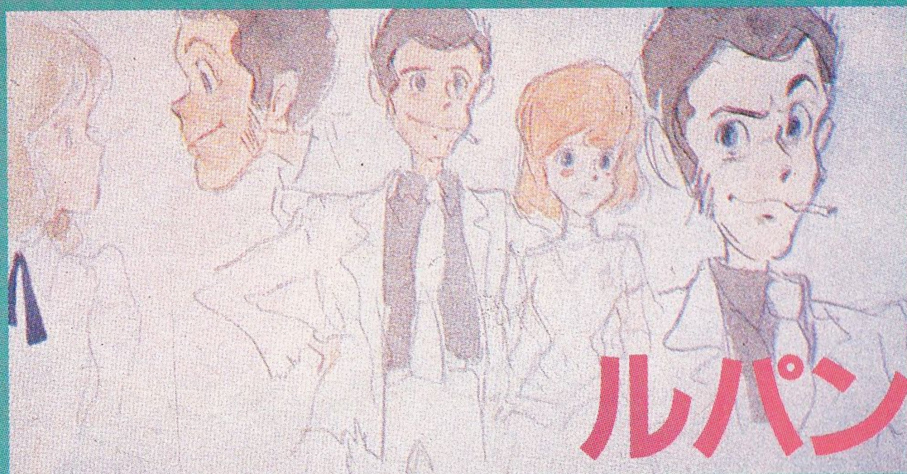


アンコール REVIEW

「カリ城」と呼ばれ、親しまれている宮崎駿監督の「ルパン三世・カリオストロの城」
ルパン三世をはじめとするメイン・キャラクターの魅力を中心に、
楽しき映画「カリ城」をアンコール・レビュー。







ルパン三世

「私の獲物は、悪い魔法使いが高い塔のてっぺんにしまい込んだ宝物……。どうか、この泥棒めに盗まれてやって下さい――」





んっ、指がしょっぱいのかな。



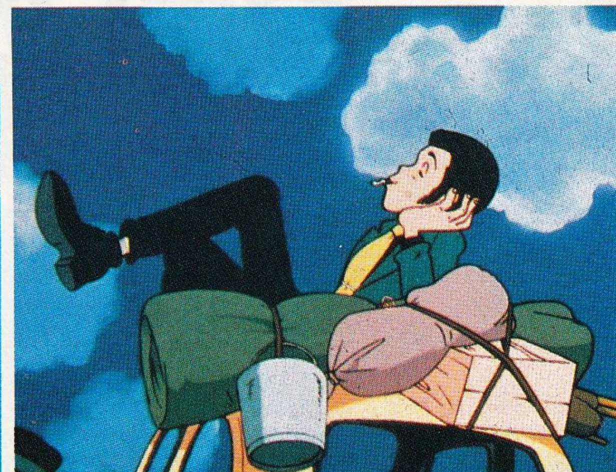
「ケ・ケ・ケ・ケ・ケ・ケ〜〜」



「この指輪はくれてやる。しかし、その子を殺せば湖にすてて、おまえを殺す！」



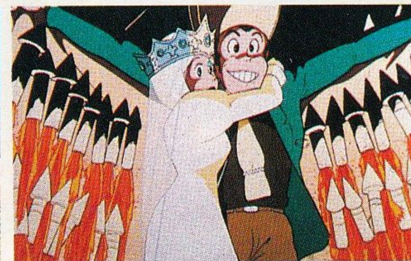
じゃ、じゃんけんは非情じゃ 勝負は冷酷なのだよ。



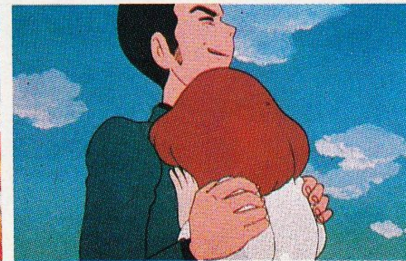
「平和だねえ…」この静寂が事件のプロローグだった。



「次元！　つぎの仕事が決まったぜ!!」



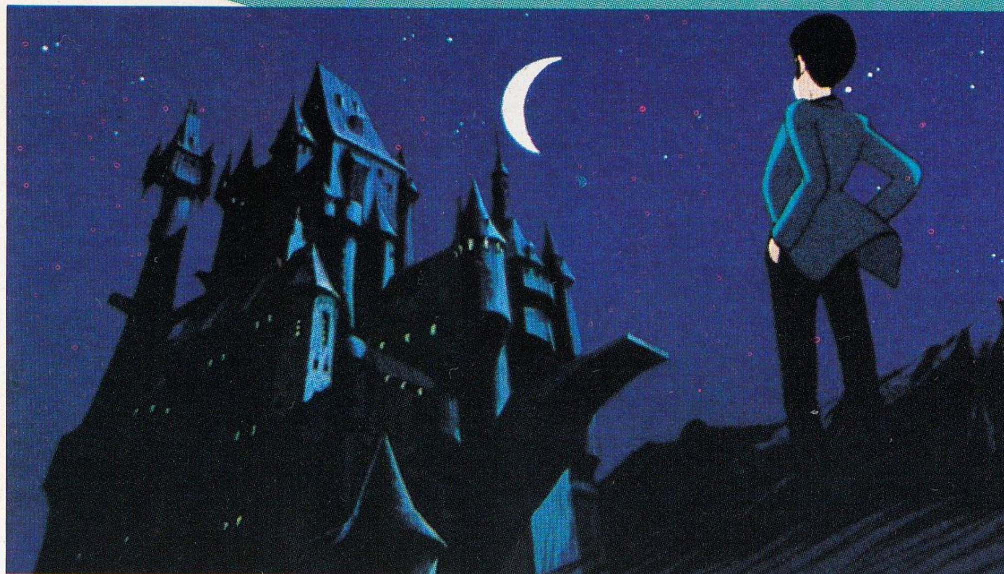
「――やけどすっぞお」ヤッタ♥



「クラリス……」男だねえ、ルパン！

LUPIN'S MEMORY

もう、10年以上昔だ………、おれはひとりで売り出そうとやっきになっている青二才だった



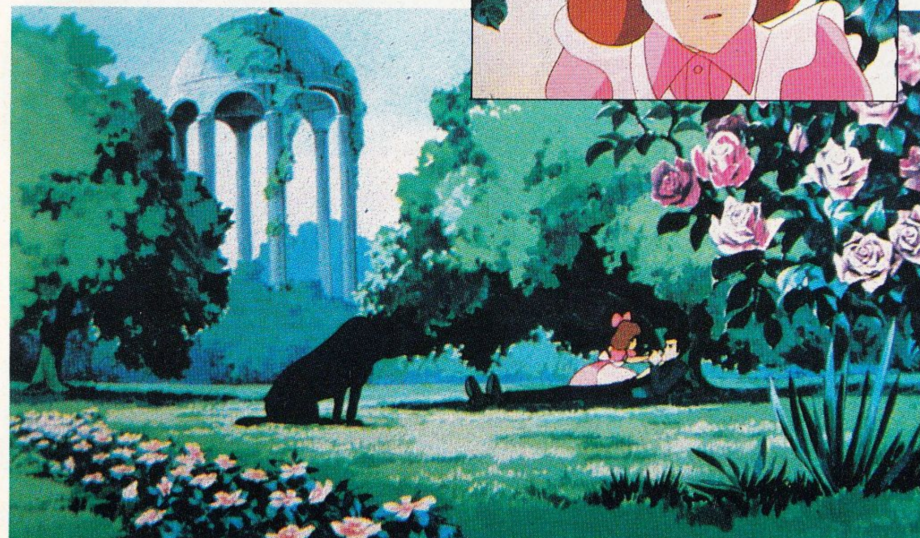




バカをやっていきがったあげくの果てに、おれはゴート札に手を出した。

お水…………





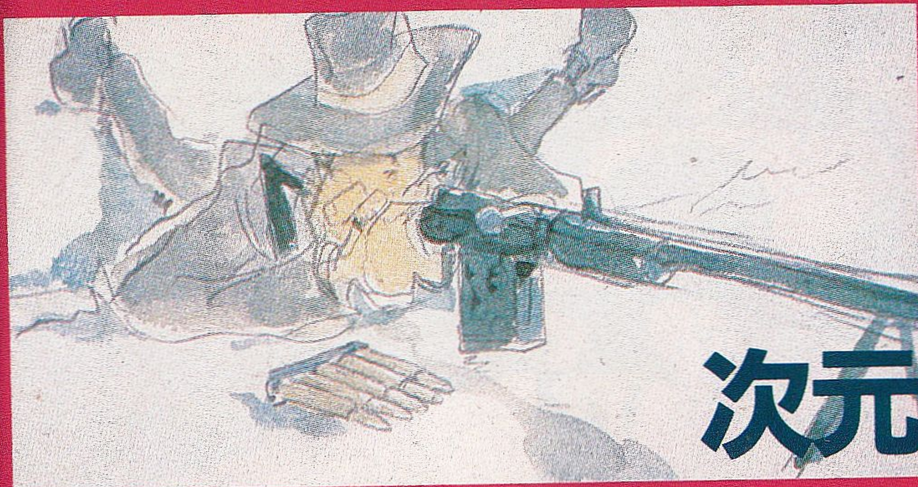








なんとか岸にはいあがったが、もう身動きがとれなかった。



次元大介

「いい子だったな――。
おめえ
残ってても
いいんだぜ」





「どっちにつく」「オンナ」「…だろうな」しけもくは決意の表示!?





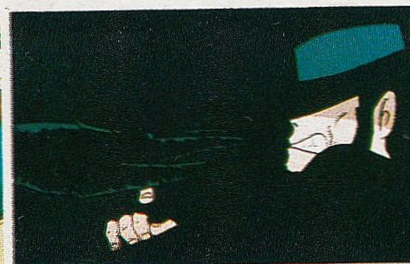
水の中に入るのに、なんでボウシをかぶってるの？



「ヤッターッ」この充実感のために次元はガンバル。



次元さん、ナニを持ってるんですか。



マグナムは、たてにもなります。



ま・まずしい食生活なのね。






今度のは
ただの弾丸じゃねえぞ。











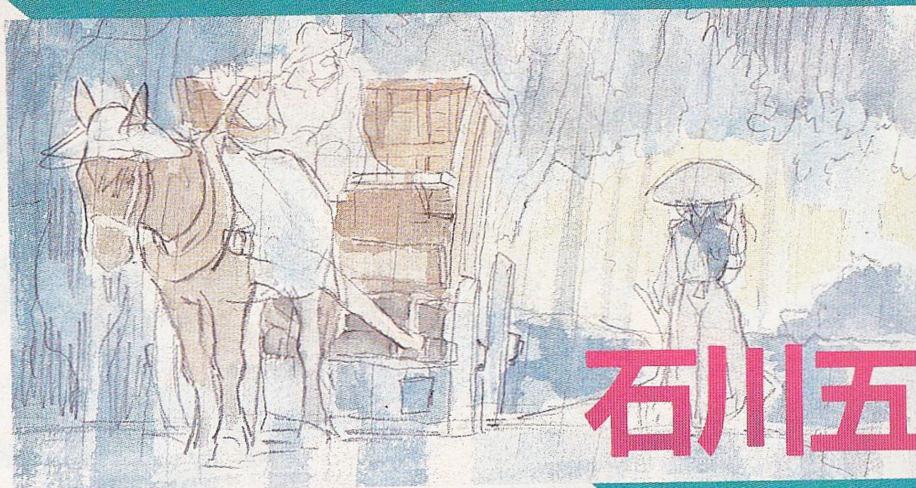












石川五右ェ門

「こよいの斬鉄剣は
一味ちがうぞ！」





「まだ動かん」五右ェ門14のセリフ中6番目のセリフ。



「オンナ…」「おりるなんていうなよぉ」



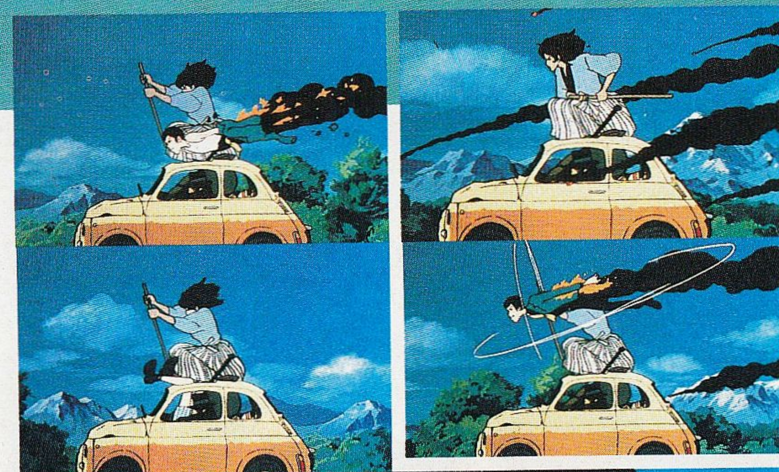
「可憐だ……」「ん…？」



斬鉄剣は、悪を断つ！



出番です、五右ェ門さん。





「また、つまらぬものを斬ってしまった……」

銭形警部

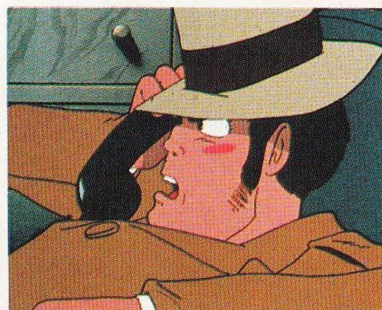
「いや、やつはとんでもないものを盗んでいきました。——あなたの心です」







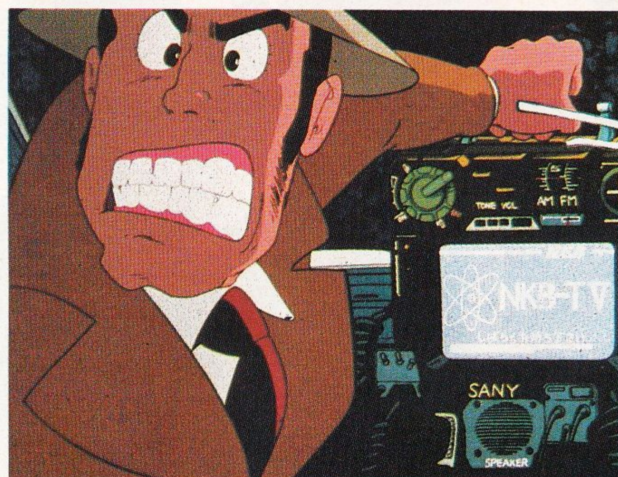
「ルパンが結婚式をおそう!?」



「オレはおりるぞ———」



「そうか、その手があったか！」とっつあん会心のほほえみ。



「出動!!」行け！　とっつあん、正義は君にある。



「ルパン！　ルパン！　ルパン」



「ルパンを追ってて、とんでもないものをみつけてしまった！　どうしよう……」ヤッタネ♥　とっつあん！



峰不二子

「時には味方、時には敵、恋人だったこともあったかな……」





パイナップルと呼ばれる手榴弾も不二子さんが持つと色っぽいなあ♥



「さっ、はやく！」ウージー・サブマシンガンがさくれつだあ！



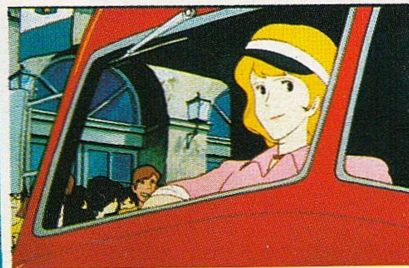
「ルパン相手なら、天下ごめんで出動できるんでしょ」



このツーンとした態度が、ス♥テ♥キです。



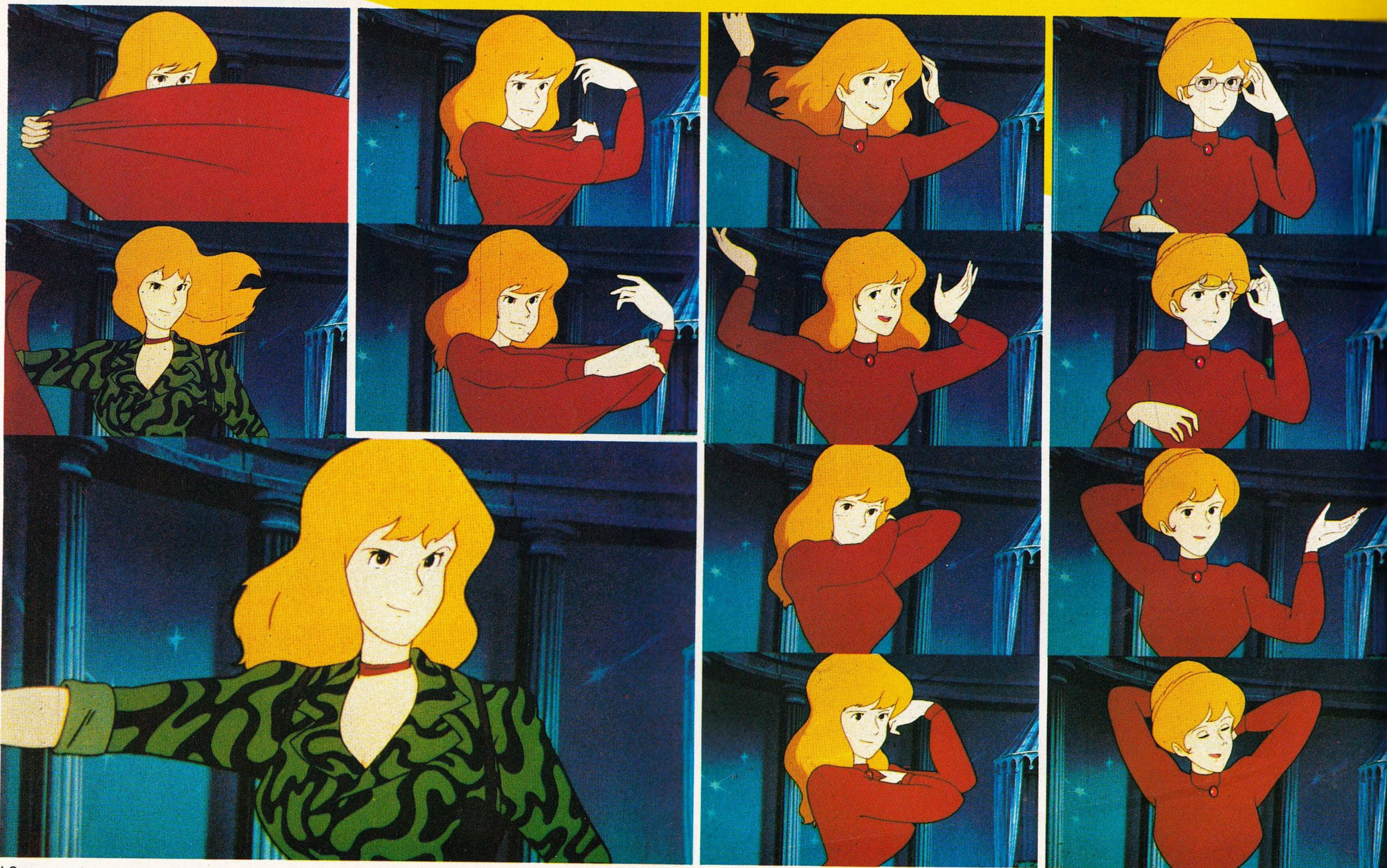
早がわりはお手のものなのだ。



しらじらしくテレビ局員として潜入。



「ルパン……？」かわいい♥





「私もつれていって——
ドロボーはまだ出来ないけど、
きっとおぼえます。わたし…
わたし……、おねがいっ♥」



クラリス・ド・カリオストロ



カール、なめちゃダメっ



逃げろクラリス！　伯爵が迫る!!



クラリスは笑顔がイチバーン♡



ルパンをかばうクラリス。その目がナニカをうったえる。



宮崎アニメの美少女のパワーを見よ！　行っけ——!!



まさに眠り姫、クラリスのやすらぎは眠りだけなのか？



「おじさま!?」

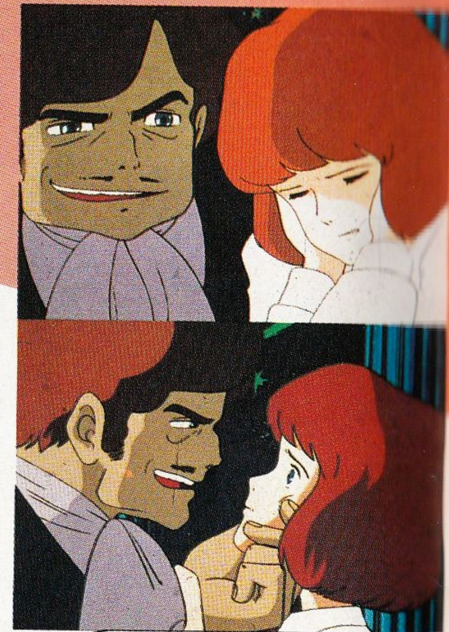


クラリスの瞳は神秘の輝きがある。

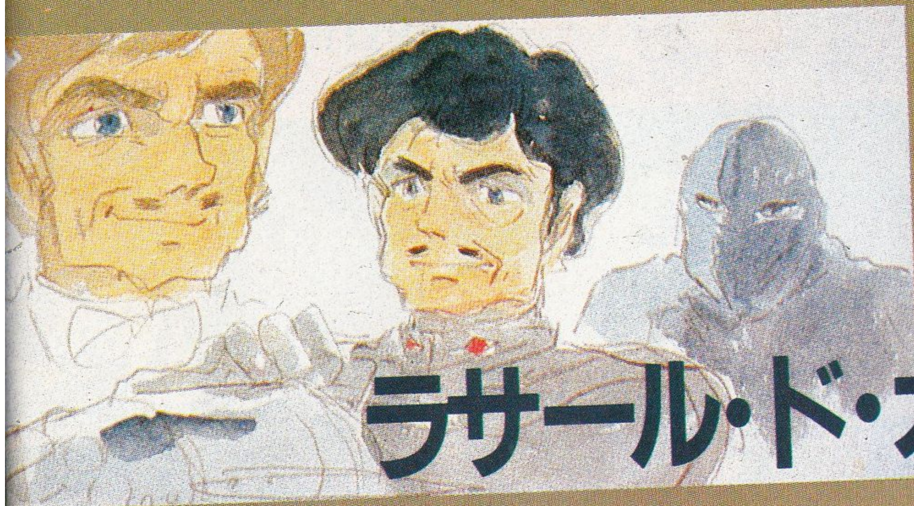














「かわいい顔をして、
もう男をひきこんだか……
カリオストロの血は
争えんな……」

ラサール・ド・カリオストロ伯爵



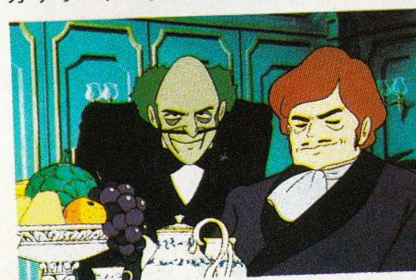


伯爵VSルパン！　伯爵の剣がルパンを襲う。危ない！ルパン!!





カリオストロ家に伝わる秘宝を、いよいよ目前にした伯爵。なんとなく、いやらしい目つきなんだな…これが



こ、これが朝食のメニューか!?



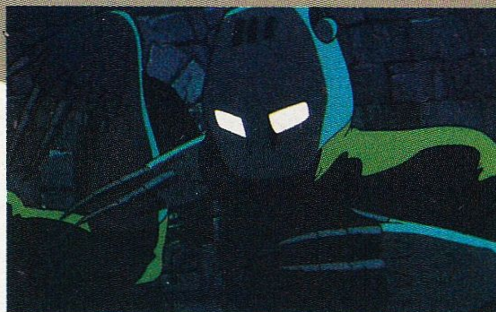
服を着るのにも使用人を使用する。



飛行服姿の伯爵。



ジョドー　カリオストロ家に仕える執事。実は特殊部隊カゲの頭領でもある。

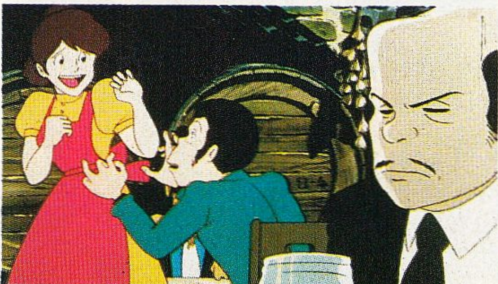


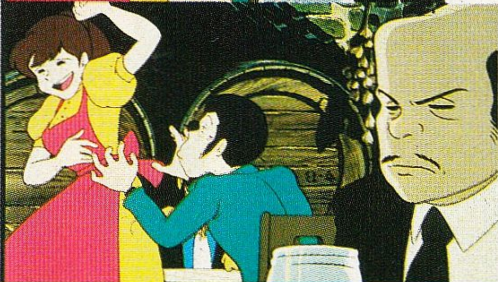
水カゲ　水中移動を目的としたカゲ、そのツメは伸縮自在。水中をバタ足だけで泳ぐ。





グスタフと衛士たち　頼りない性格だが、その体格ゆえに、衛士の長を務める。単純な男。





スパイ　おそらくはカゲの一員。確かめていないが、地下工房が火事のときに伯爵に知らせにきた人が、よく似ている。後方のねえーちゃんとルパンのやりとりに注目。

●カゲ

ルパンはカゲに向かっていう「暗殺のプロだよ」。彼らはカリオストロ家を支える特殊部隊なのだ。





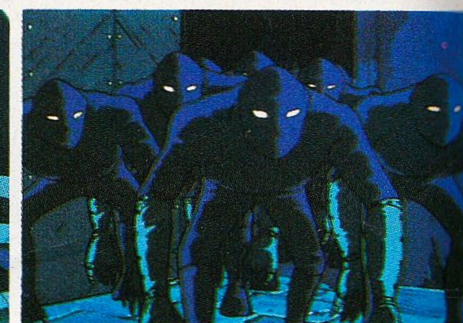
オノをも受けとめるカゲの反射神経はバツグン。



コンクリートをも貫くカゲのツメ。



凶器であるツメが、ルパンを狙う。冷血な眼光が不気味。



ルパンにつめよるカゲたち、集団放囲の恐さだなあ。

カリ城雑学風景

見逃がしがちな場面には、作者の遊び心がいっぱい。お楽しみは、これもなのだ！

煙草する？



タバコ どうして「カリ城」には、タバコのシーンが多いのだろう。「あた〜〜り」とルパンのいうシーンは、タバコの煙が見事に演技をしている。



オープニングからタバコをすっているふたり。



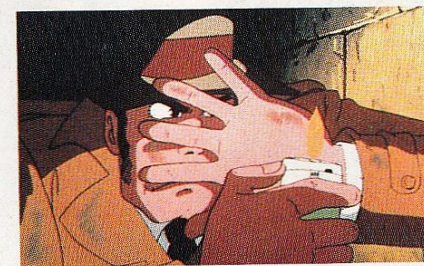
灰皿を腹にのせて、タバコをふかす次元。「お宝でも甦るのか・な……？」



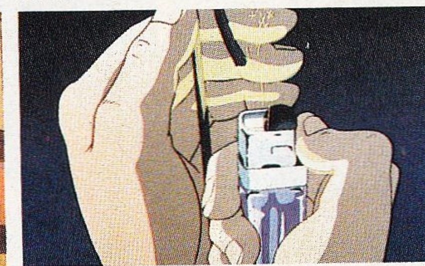
地下水道内で、タバコの友となるルパンと銭形。



グスタフにタバコをくわえさせられた銭形。



デュポン 銭形愛用のライター。地下工房の火つけにも使われたらしい。



百円ライター 本当なら火がつくはずだったんだよねえ。おしいけどね。

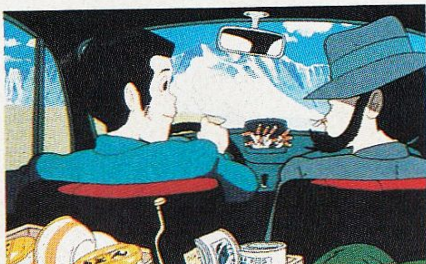
美味・風味・珍味



「カリ城」にはさまざまな食事シーンと食い物が出没する。ここに、その主な場面を収録。伯爵の食事、豪華なうえに量も相当多いのだが、ひとりで食べてしまうのだろうか？



わりばしの割り方が、なかなかおつです。パキッ！



カンヅメ・カップめん 世紀の大泥棒の食料とは思えない。

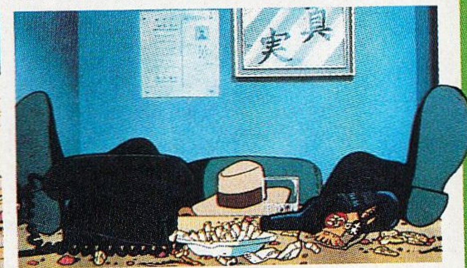


銭形隊の夜食？ これで一晩もつんでしょうか？



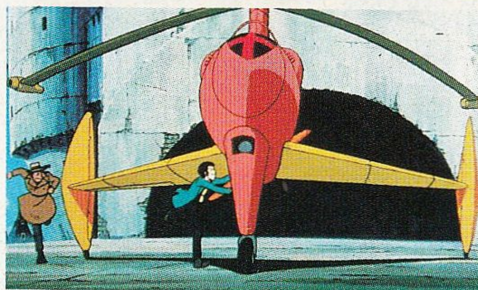
「12時間もありゃ、ジェット機だってなおらあ！」 マネしちゃダメだよ。



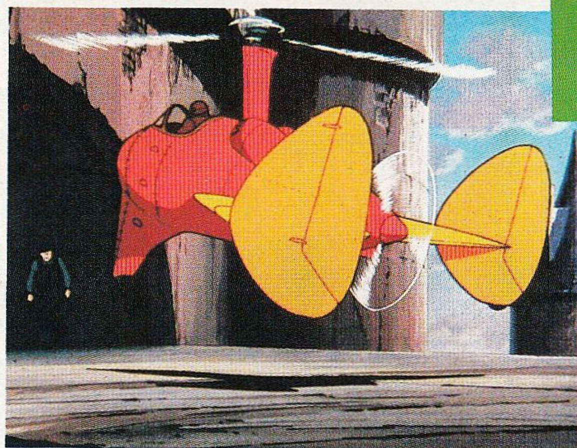


珍味の空きぶくろと、ウイスキーの空きビンと、すいがらの山……、食いちらかしたピーナッツのから……、ふてくされた銭形の足……悲惨だ。

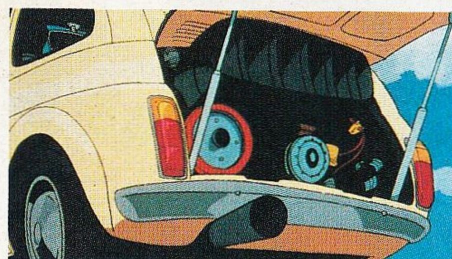
オートジャイロに乾杯！



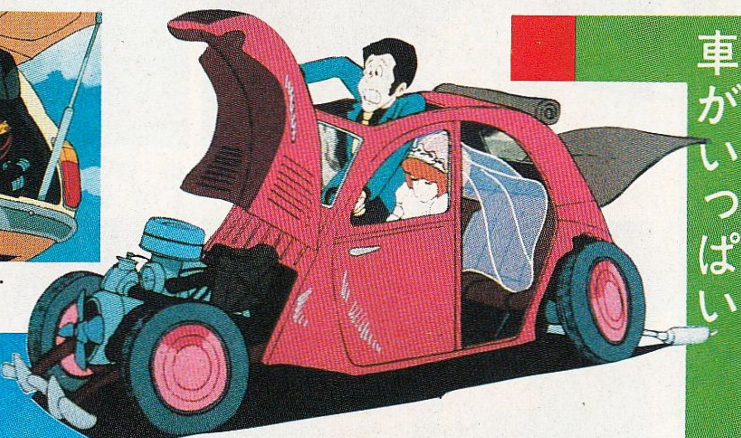
オートジャイロ ローターに、ラムジェットがついているので、ヘリ的能力をも備えている。宮崎メカの代表例として有名。



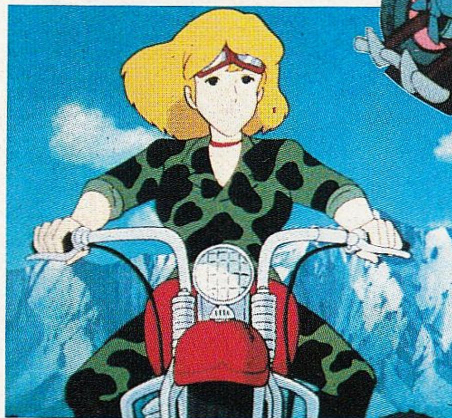
車がいっぱい



ＦＩＡＴ500 スーパーターボ・チャージャー装備の改造型です。



新車発表会というのは、一年に何回あるのか。つぎつぎとスタイリングを変える車をよそに「カリ城」では、シトロエン2CVのように古きよき時代の車が登場する。



トライアンフ・ボンネフル カウリングしてある単車より重量感があってベスト。



通称ゼニブル ブルーバードである、いまは生産されていない。

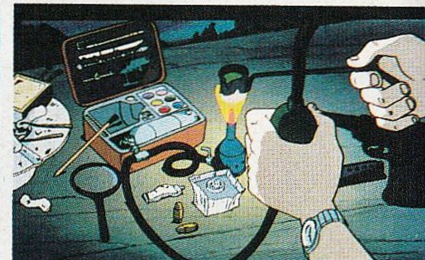
鉄砲玉の歌

ルパン一家は、五右ェ門のほかは全員、愛用の銃を持っている。次元にはコンバット・マグナム、ルパン三世ワルサーP38、不二子にはベレッタのはずが、今回はルガー。





ウージー・サブマシンガン 新ルパン145話でも不二子さんが使っていた。



カリ城では、活躍しなかったワルサーＰ38。その最期はレーザーによる溶解。



ＭＰ40 カゲが使用したマシンガン。次元のシモノフにはかなわなかった。

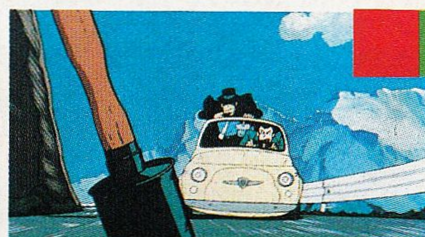


ＭＧ34 クラリスにむかってジョドーが発砲したドイツ製のマシンガン。

バクハツ!?



眩惑弾 どこから取り出したか不明。急襲に備え常備していると思われる。

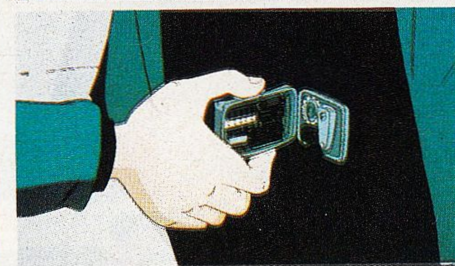


メタルストックM24 新ルパン145話によるとドイツ製の威力はスゴイらしい。

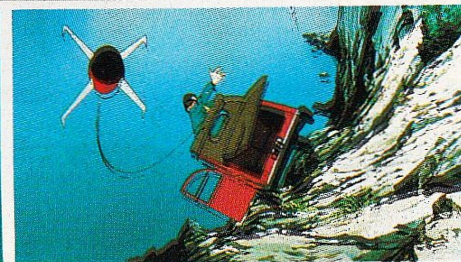
大道具・小道具

ルパンワールドにはいろいろな小道具類が活躍する。「カリ城」の予告状など、ドラマ上では効果的に使われたケースだ。

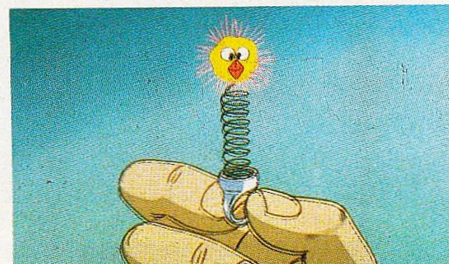




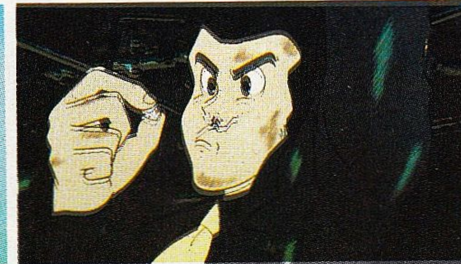
バックル収納式クランク　ワイヤーロープの長さを調節できる。2回使用した。



鉤　細いワイヤロープの先端についており、岩や木、壁などにひっかけて使用。

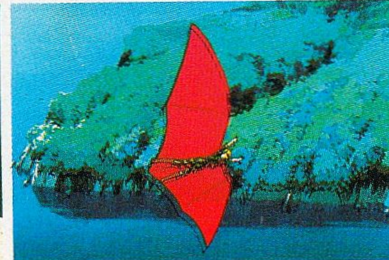


ニセの指輪　通信機能・ビックリ箱として使用。遠隔操作により爆発できる。



サイコロふう通信器　エレクトロニクスの勝利なのか？　やたら小型である。



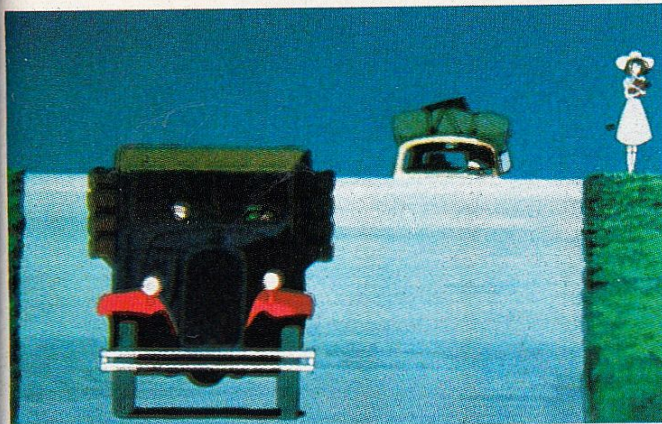


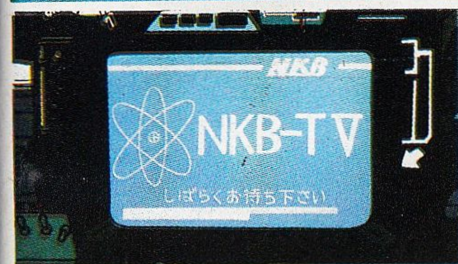
ハンググライダー　不二子が脱出に使用した。

銀の指輪　金の指輪と対をなす。

気になるシーン見つけた！

ラストの時計塔を見つめる群集にコナンがいるのは有名だが、オープニングの女の子はダレなのでしょうか？

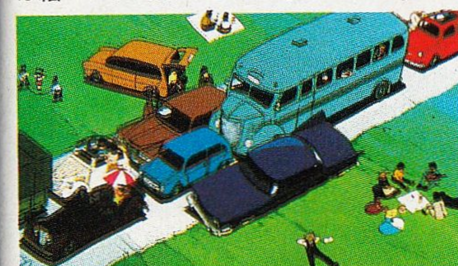




SANY製小型テレビ　画面上のＮＫＢは絵コンテではＮＢＫとなっている。



トリ　鳥類図鑑を調べてみると、もしかしたら載っているかも知れません。



左上にミミ子、右下のほうにラナらしき女の子がいます。ルーペで確かめよう。



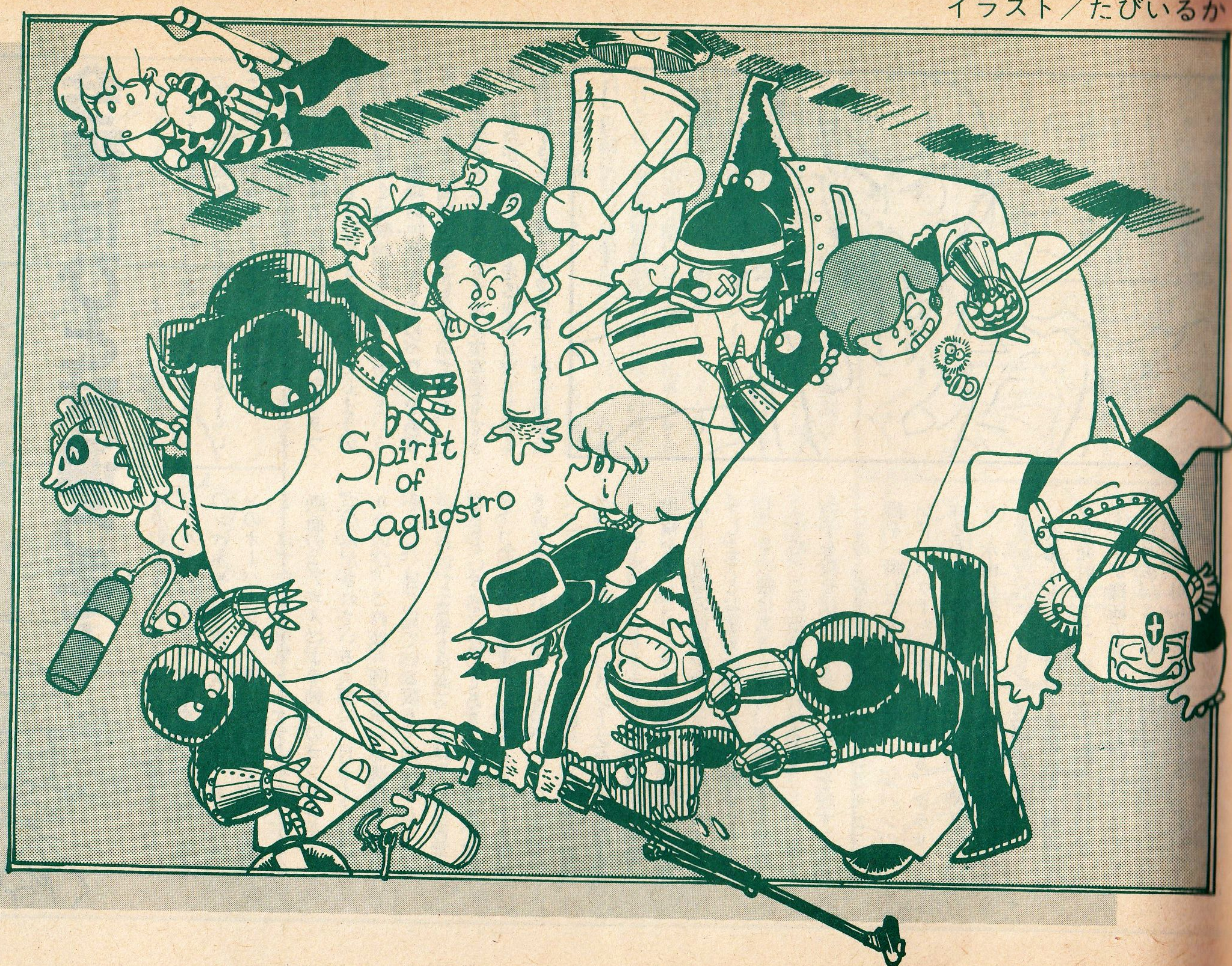
手前中央のお札に〝テレコム〟とローマ字で表示されている。作画の遊び心だね。



酒場ふうレストランの、もうひとりのウェイトレスのねえちゃんにご注目あれ！

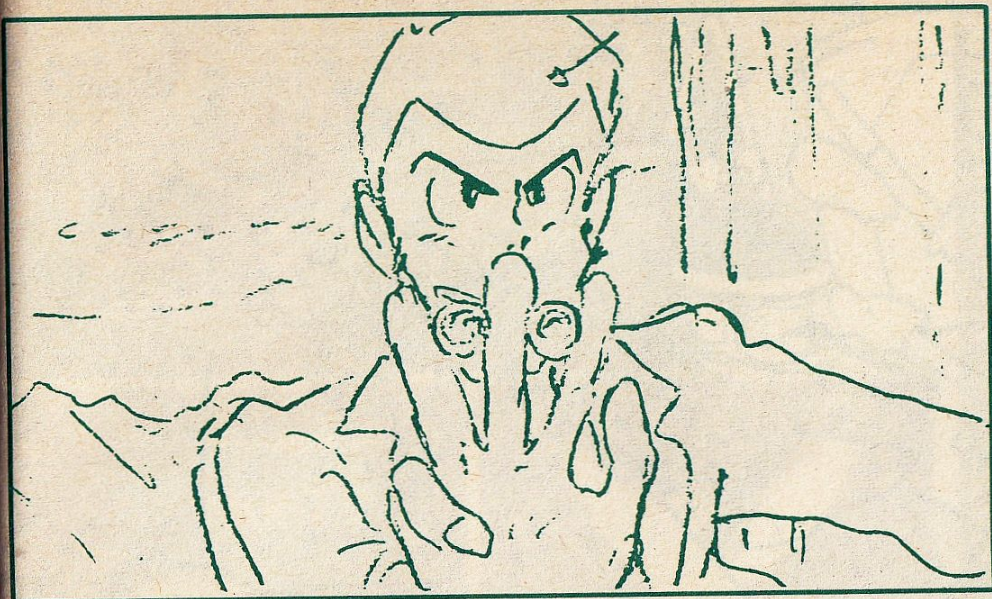
「カリ城」大好き!!

カリオストロが好きなんだ。クラリスも、ルパンも、銭形も、カールも……、みんな大好き。



●池田憲章の いいシーン見つけた!! EXTRA

今宵はひと味違うぞ!



もし「ルパン三世・カリオストロの城」のいいシーンをひとつだけ選べといわれたら、「殺せ〜、殺せ〜、そんなことできるくらいなら死んでやる〜」てなもんである。

「カリオストロの城」を見ていると、実にその全シーンが演出されぬいて、ムダなセリフ、動きがひとつもないことに感激してしまうのだが、同様にこの映画がアニメであるということがこの映画の映画としてのパワーをあげていることに陶然としてしまうのである。たとえばカーチェイス、もちろん実写でもできるだろうが、まくり、走る車をピタリと撮らえ、「おもしろくなってきやがった」といかにもうれしそうに笑う次元、ヒジでガラスをくだくルパン、クラリスの車のジャンプ、追手のシャネルズの重厚なジャンプ、そしてルパンのオーバージャンプ（ルパンと次元の表情）と、はずむ心と勇気とキャラのパワーがその画面の『アニメによる動きのコントロール』で生みだされている実感に、目もくらむばかりなのだ。これは、例のルパン跳びにしてもそうで、目で見ている限り、跳んでしまっているわけで（音楽も最高）、もはやいう言葉もなしという感じなのである（登っていく途中で、「ハーッ」と息を吐いた途端、ツーッと落ちていくギャグも快調そのもの）。

このアニメの見どころは、そのキャラ表現で、ひとりひとりの名シーンを選んでみよう。

まずルパン——クラリスの危機に、伯爵に指輪を示し、いうセリフとその表情。「話を聞け！　指輪の秘密を教えてやろう。お宝はどうしようとおまえの勝手にするがいい。しかし、その娘はあきらめろ、自由にしてやれ。（中略）この指輪はくれてやる。しかし、その子を殺せば湖にすてて、お前を殺す！」

この「おまえを殺す！」というセリフが伯爵を一瞬たじろがせる迫力で、ルパンのマインド・パワーを見せつけている。クラリスを守るため、空中を泳ぎ、その頭を押さえて守り、水中に突入する（水柱の高さは、ルパンの心そのものだ）シーンと並ぶ名場面。

次元——これは、もう結婚式場の戦車ライフル発射シーン。窓のカゲを撃つわけだが、ひとりめが機銃の発射直後、撃っているのに、ふたりめ、3人めが発射寸前に撃っているこの演出。明らかに調子にのっているわけで、撃とうとしている奴に気づいて撃っているの



だ、今度のはただの弾丸じゃねえぞ」と装填するシーンとともに、出番があったときの次元の抜群の実力を見るべし♡

五右ヱ門――なんたってセリフが14しかない(それにもかかわらずあの存在感)キャラだが、やはり「可憐だ」の後に、飛び降りてのカゲとの剣戟戦の名シーン。「こよいの斬鉄剣は、ひと味ちがうぞ!」登場シーンは、ほとんど五右ヱ門のためだけに雨が降っているようで、つねに特徴的な音楽もヨロシイようで……。

銭形のとっつあん。個人的には、インターポールで政治的な駆けひきにニセ札事件をもみけされ、埼玉県警銭形隊の前に来てのセリフ。「出動はない。後任が決まりしだい、われわれは任を解かれることになった。全員帰国の準備をしろ」というセリフが、納谷悟朗入魂の演技で、銭形の心そのもので泣かせる!

セリフ後、小屋のトビラをしめる描写も、実に静かで、銭形の無念を象徴していた。パリへの帰還命令に、階段を2段ずつ上がる描写も、彼の怒りを描いているのだと思う。

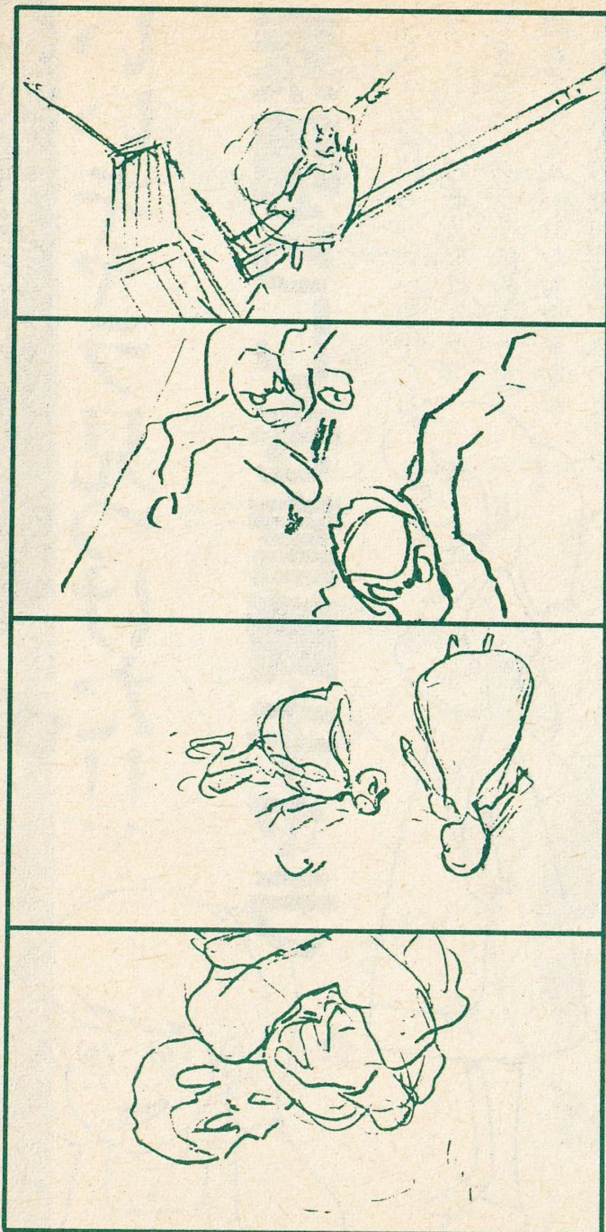
クラリス――ルパンを介抱するのに、手袋を水にひたすシーンで、指輪がぬけてるんだけど、気づかないその心。気づかせない演出。その笑顔と手の演技――ルパンを守るため、伯爵の手をつかみ、空中に飛びだすシーンこそ、おそらく最高の名シーンだろう。何よりもその心映えが美しいのがすばらしい……。

そして、峰不二子。屋根の上からルパンが「クラリス、お迎えに来ましたよ(ガラッとふんい気変わり)不二子、ロープだ」というセリフもルパンと不二子の信頼を象徴している。クラリスを引っぱりあげるのに、不二子には手すら貸そうとせず、心配すらしないという部分が、不二子のパワーそのものの証明であるだろう。「カリオストロの城」で一番強いのは、この人。(あ、紙数がつきた)

「カリオストロの城」を見て思うのは、なんて気持ちのいいアニメだろう、ということ。

これぞアニメを見るうれしさナノヨ♡





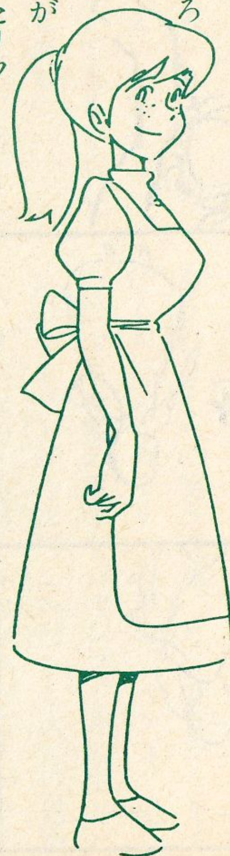
●徳木吉春の

いいキャラ見つけた!! EXTRA

素晴らしき宮崎キャラ

「なんと気持ちのいい連中だろう……」このセリフは、ラスト近くで、クラリスのもとを離れてゆくルパンたちを見ながらいう老人の独白だが、このセリフフに代弁されるように「カリオストロの城」に出てくるキャラクターは、主役はもとより、数カットしか出てこないウエイトレス（ぼくらは、酒場のねえちゃんと呼んでいるが）に至るまで、実にそのキャラクターの性格を描いている。これは「カリオストロの城」に限らず、宮崎さんのタッチした作品すべてにいえることで、そのキャラクターを論じることは、宮崎さんの作品論をすると同じことを意味する。宮崎さんの描きたいテーマは、キャラクター設計に隠されているといえるだろう。

それにしても、宮崎さんのキャラクターは、コナンにしろ、ルパンにしろ、なんて、元気ハツラツとしているんだろうか。主人公の動きを見ているだけで、こちらまで心浮き浮きとうれしくなってしまうのだ。そして、それは、主人公に対するヒロインにもいえることで、クラリスにしても、実に「お姫さま」なのだが、傷ついたルパンを助けるため、自らの体を張ったりする、強い部分も見せてくれるわけで、不二子にしても、コンバット・スーツに身を包み、ウージー・マシンガンをぶっぱなすカッコよさ。TVシリーズの第145話「死の翼アルバトロス」では、スッポンポンにされ、テーブル・クロス1枚を身にまとっての大活躍。不二子本来のミステリアスなイメージはどこへやら、本当に元気な女の子（大人の女性では決してない）に描いている。





宮崎キャラの特徴は、ひとつの目的に向かったとき、そのキャラクターの持つ最大の力が発揮され、ときには、信じられないような超人的なパワーを見せるのである。（スーパー・コナン！）

そして、忘れてならないのが、ユニークなキャラクター。伯爵もりっぱにユニーク（石田太郎さんの声がス・テ・キ）だが、伯爵の影として暗躍する〝カゲ〟には一歩ゆずらざるをえないだろう。カゲには、宮崎さんの演出法のひとつである、スロー・テンポから、突然、ひとコマで動く（逆もある）特徴が、実にうまく生かされているのだ。カゲとルパン・次元の戦いは、ぼくの一番好きな場面である。

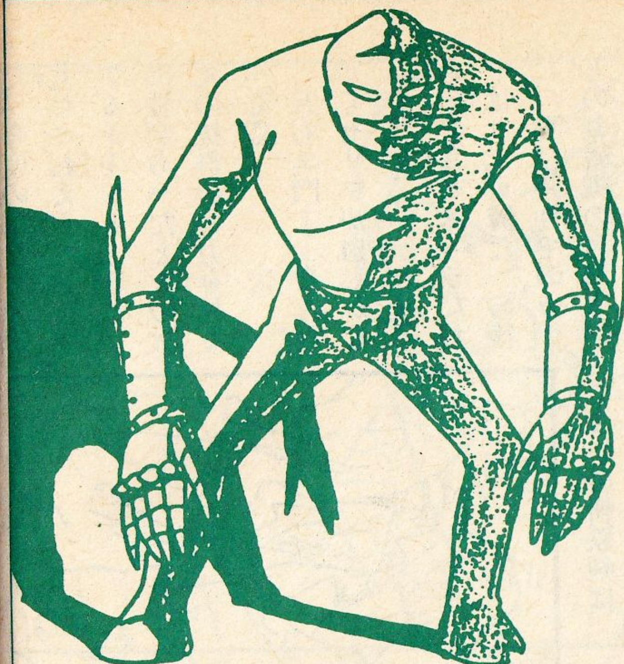
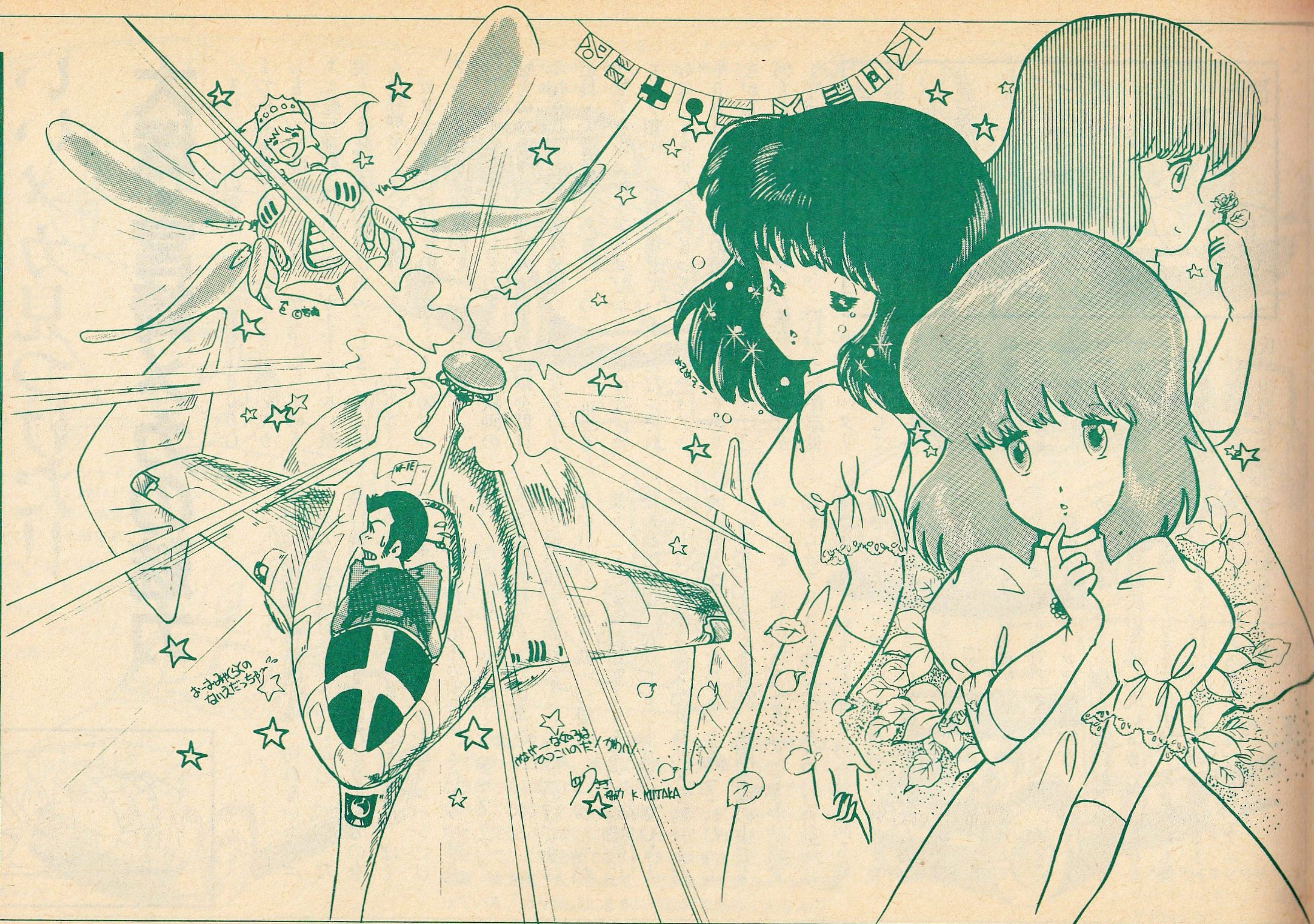


IMAGE ILLUSTRATION

●森野うさぎ

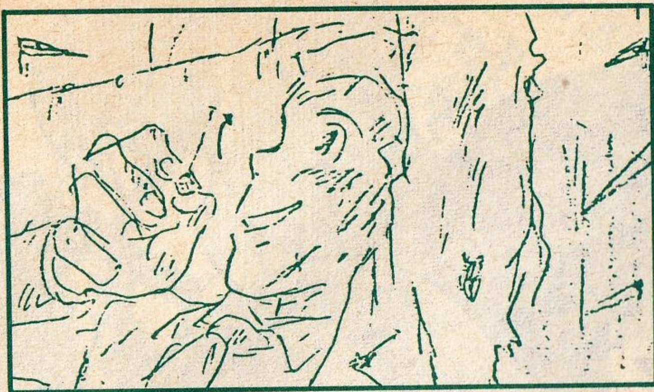


●中村学の いいメカ見つけた!! EXTRA

大塚・宮崎メカの魅力

先日、ぼくの愛車・セリカLB1600GTで東北縦貫を飛ばしていたとき「炎のたからもの」を聞いていたら、知らず知らずのうちに蛇行運転……あわや、ガードレールに激突という死にそうな目にあってしまった（こんな経験をした人って意外と多いのでは?）。「カリオストロの城」のラストシーンのフィアット500は印象的だったからなあ。

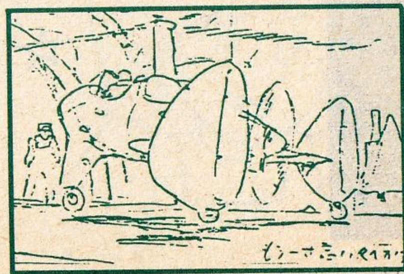
「007シリーズ」などのアクション映画の魅力のひとつは、登場人物たちの活躍を助ける秘密兵器とか、特殊装備つきの車などの小道具・大道具類にある。この「ルパン三世」も当然アクション・アニメだから、そんなメカニック類が、多数登場している。ただ、それらは、イタリアの貧しい人(?)の車フィアット500や、最新鋭の戦闘用ロボットでありながらプロペラで飛行するラムダみたいに、何となく"アンティック"な感じのものばかりだったりするけど……。これがまた作品世界にピッタリとマッチしている。もちろん、これらは大塚康生・宮崎駿両氏のメカマニアとしての趣味が入ったものなのだろうが、ぼくは大すきなんだなあ。

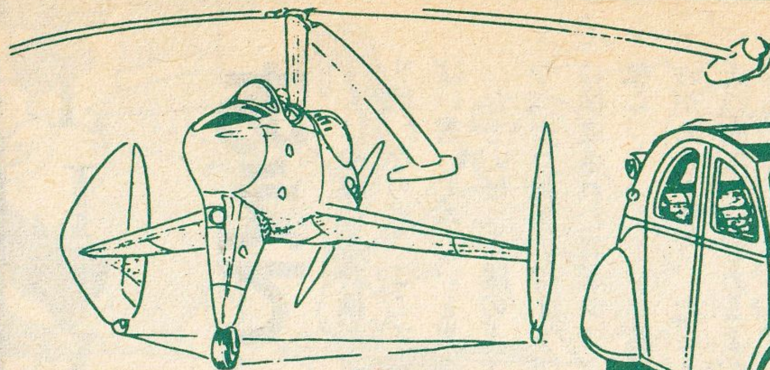


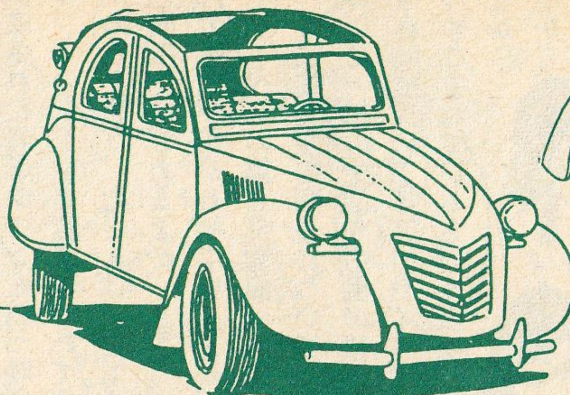
だから、両氏が担当しなかった新作で、斬鉄剣が唯一切れないコンニャク（この発想自体ついていけない）で作った飛行機が登場したとき、ほんとうに見るのをやめたくなってきた。そう思った人は、ぼくひとりではないだろう。やっぱりルパンにはベンツSSK（旧作の前期は、それなりに魅力的だったんだけど、新作は……）よりフィアット500のほうがよく似あう。

小道具類も秘密兵器というほどのはでさはないけれど「カリ城」の場合、ルパンたちが使うことで並の超兵器よりもずっと効果的に使われている。なかでもシトロエン2CV（ドゥシーヴォー）といっしょに崖から落ちたクラリスを助けるためにルパンが使ったひもつき鉤（これだって一応メカですよ!）は最高。映画本編の中でも、ルパンが、落し穴に落とされたときや結婚式場からクラリスを助けたとき（あれは自動的に巻き上げたから別ものかな?）の合計3回も使用されたし、メカニズムも単純なだけに、見ていてなるほどうまい小道具を考えたものだなあ、と納得してしまった（先日、この作品より前に作られた「ダイターン3」を見ていたら似たようなのを使っていたが……意外とオーソドックスな小道具だったりして）。

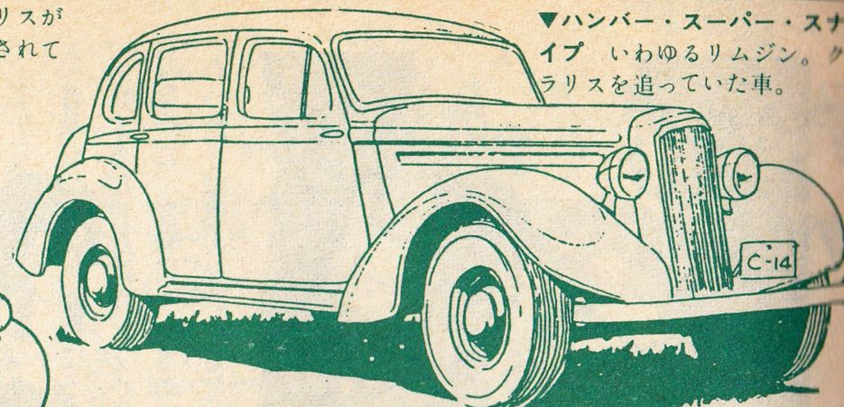
最近のメカニックは戦闘的な"とがったメカ"が多く、ぼくも個人的には好きなんだが、大塚・宮崎氏の作る"丸いメカ"にもなぜか魅力を感じてしまう。理由は、あまりにも使い方がうまいだけに、何をやってもゆるされるってところがあるからなんだよね（アニメなんだからと……）。



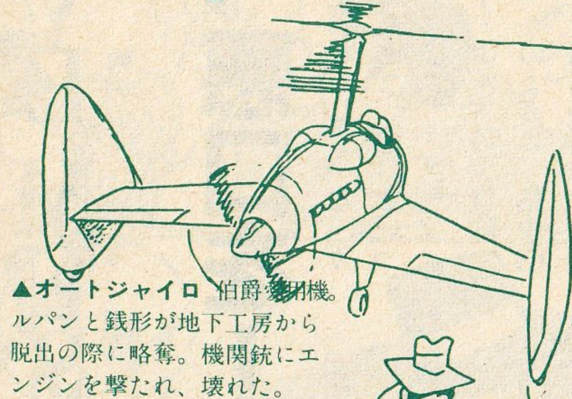




▼シトロエン2CV　クラリスが逃走用に使用。完全に破壊されて湖に消えた。

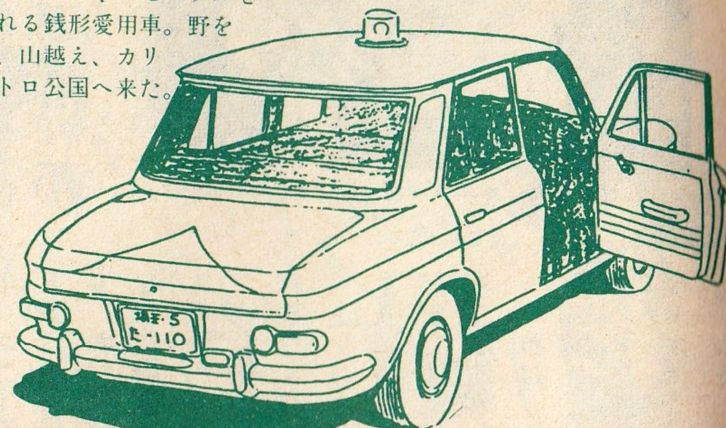


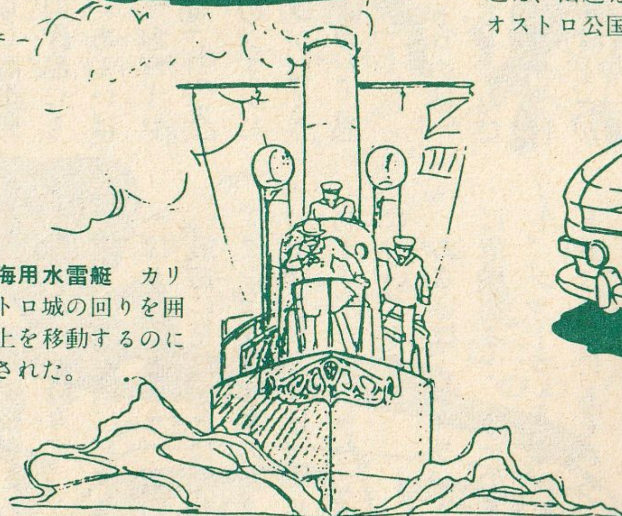
▼ハンバー・スーパー・スナイプ　いわゆるリムジン。クラリスを追っていた車。



▲オートジャイロ　伯爵愛用機。ルパンと銭形が地下工房から脱出の際に略奪。機関銃にエンジンを撃たれ、壊れた。

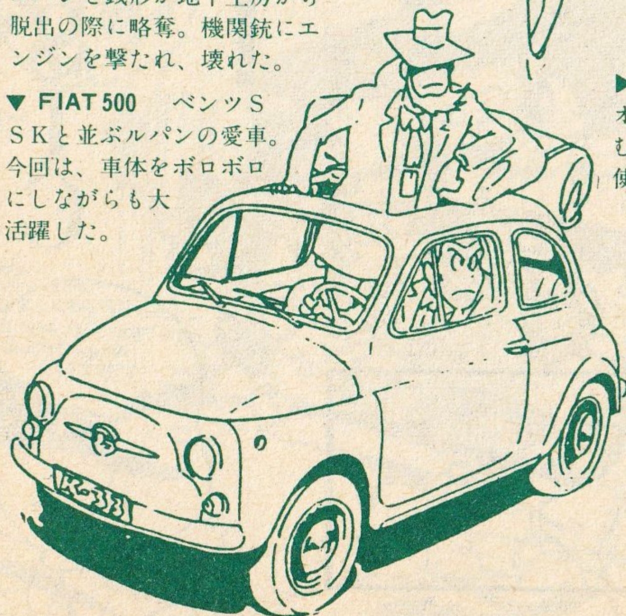
▶ブルーバード　ゼニブルと呼ばれる銭形愛用車。野を越え、山越え、カリオストロ公国へ来た。





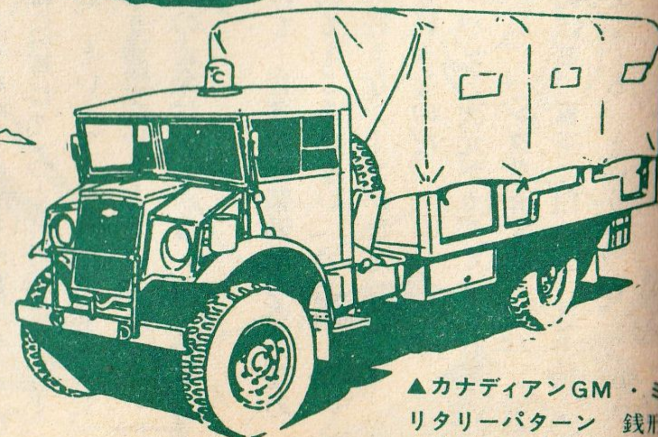
▶内海用水雷艇　カリオストロ城の回りを囲む湖上を移動するのに使用された。

▼ FIAT 500　ベンツSSKと並ぶルパンの愛車。今回は、車体をボロボロにしながらも大活躍した。



「カリ城」のメカニック世界。それは、超近代的とはうって変わった世界。過去に実在した名車たちが、ルパンたちとともに駆けまわる世界。いまは、博物館でしか姿をみることのできない自動車たちだって、ルパンと一緒だと、元気いっぱいに動きまわってくれる。

そして、この世界では、バランスを乱すことはなく、敵側・味方側、入り乱れて、古き良き時代のメカが頑張っている。「カリ城」は、まさに活動大写真なんだもん♡



▲カナディアンGM・ミリタリーパターン　銭形突撃隊が使用。

卓

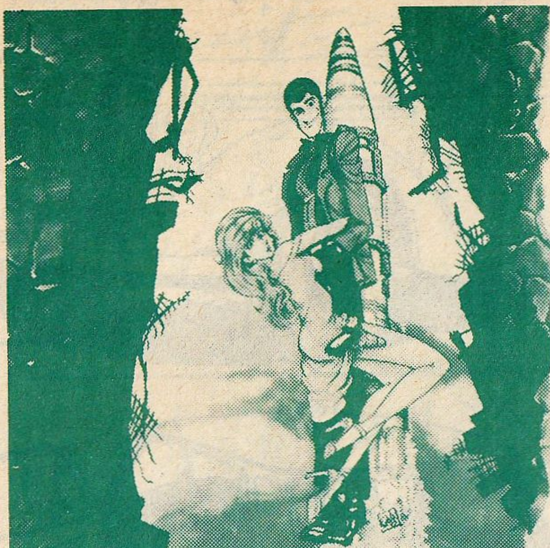
I LOVE MUSIC EXTRA

あえて、悪口を！

もはや傑作の評価が定着してしまった「カリ城」なので、ここではあえて、悪口をいっぱい書いてみたいと思う。では、いざ！

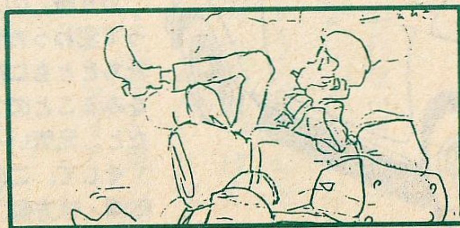
たとえば「太陽の王子・ホルスの大冒険」や「セロ弾きのゴーシュ」のように、集中的に構成された音楽シーンを持つ映画についてなら、そのシーンと音楽について語るべきものがあると思う。たとえば、どちらも高畑勲氏の演出作品であるとか、どちらの作品にも間宮芳生氏がかかわっているとか。あるいは、ベートーベンの第6交響曲「田園」とヨーロッパの民族音楽の関連についてや、「ホルス」において、村の生活や労働の描写のシーンに若き宮崎駿氏のアイデアやイメージがたくさんつめこまれているという点は、重要だと思うとか……。

だから、正直いって「カリオストロの城」の音楽について何か書こうと思っても、ただ当惑するだけなのだ。というのも、演出意図のなかに、音楽についての明確なイメージがあったとは思えないからだ。



コロムビア制作「ルパン三世・3」のLPジャケット

「カリオストロ」の前半は、ルパンの行動をえんえんと追っていく描写に終始している。そのいろいろなシーンのなかで、いかにも音楽とフィルムのイメージがぴったりしているところがある。ルパンが屋根をころがるように走り降りて、ジャンプ！　北の塔にピタッとへばりつくという、あの有名なシーン。



最初に見たときはたしかに笑えたが、そのアクションと音楽のあまりの密着ぶりが〝きっかけどおりにピッタリ〟といった予定調和的イメージをかきたて、くり返し見るとハナについてくる。

あるいは、カメラがきりかわって、ルパンに危機迫る！　カゲの手のツメが伸びるカット。ジャーンと音楽。こんなぐあいに、カット頭にいかにもそれらしい音をつけるやり方も、かなり目に(耳に?)つく。音響監督の手なれた職人芸、といってしまえばそれまでだ。しかし、かなり通俗的やり方ではある。

大野雄二氏の音楽はソツがないが、特筆すべき点もない。

というわけで、音楽や音楽効果の点ではあまりほめられるところのない「カリ城」なのだが、ぼくの好きなシーンがひとつあって、そこは効果も好きなのだ。

それは、ルパンと次元がカリオストロ侯国に入国してから。パンクを直す間、ルパンがふと空を見あげる。青空に白い雲。鳥のさえずりが聞こえてくる、というカット。なんともシンとしていて、いいカットなのです。

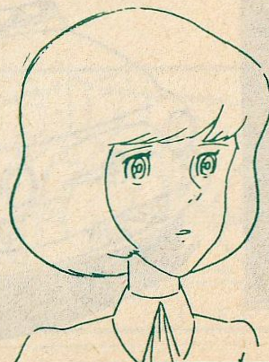
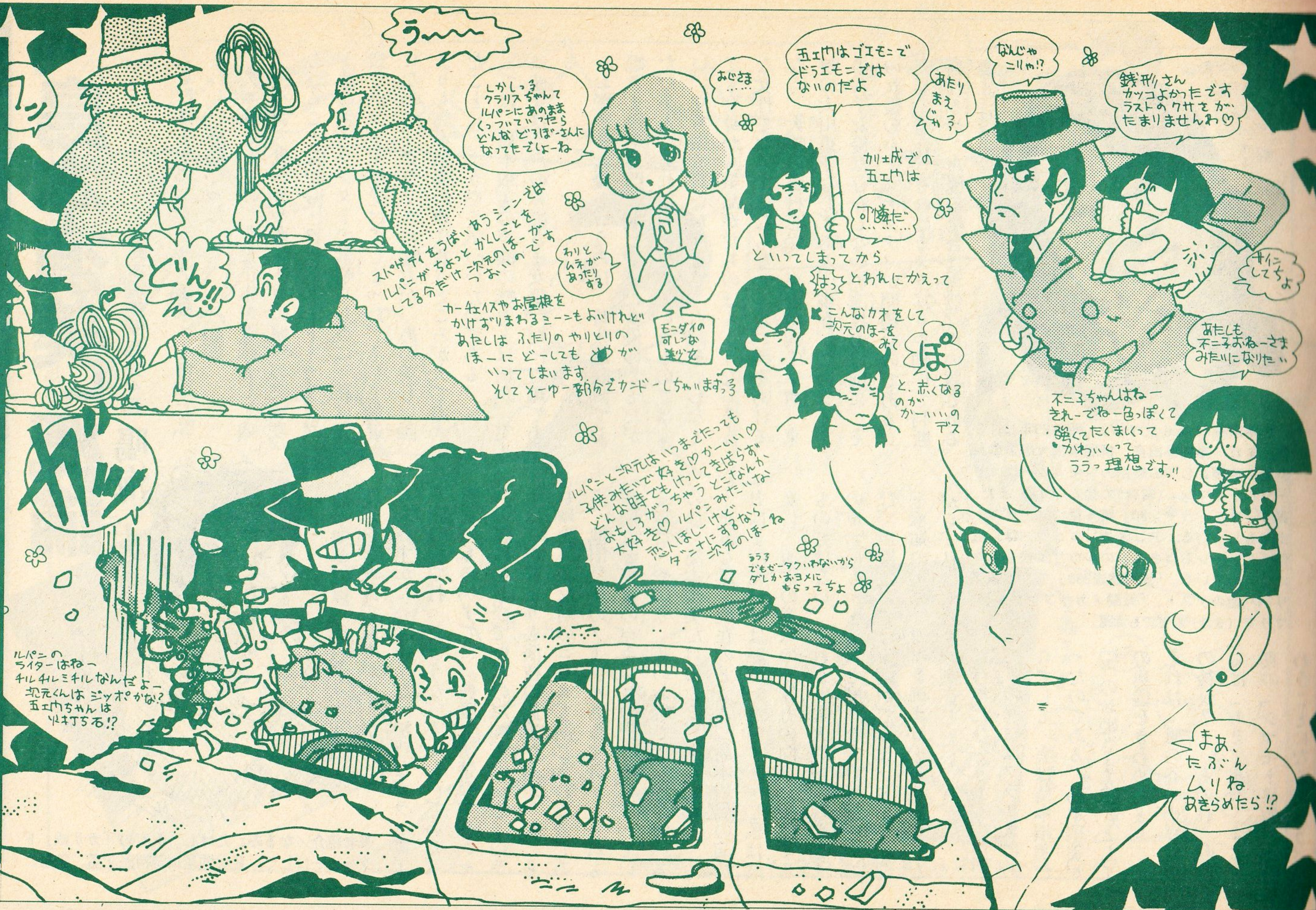


IMAGE ILLUSTRATION ●羽佐間みのる



●ゲストエッセイ

「島本須美」概論

島本須美保存会々長 鳴海 丈

それはまさに「クラリス衝撃」と呼ぶにふさわしい感動だった。

アニメとしての、また1本の映画としての「ルパン三世・カリオストロの城」の完成度もさることながら、クラリス・ド・カリオストロのキャラクターの素晴らしさに、私は強烈なショックを受けてしまった。そして最近になって、クラリスの魅力が、あの美しい画よりも島本須美の声に負うところが大であったことに、ようやく気づいたのである。

では、島本須美の声演の魅力とは何か。実は彼女は「声のお姫さま女優」だったのである。

お姫さま女優というのは、時代劇映画でお姫さま役を専門に演じていた女優のことだが、ただ美人であればつとまるというものではない。立ち振る舞いが優雅で、台詞をいわなくても全身から気品がたちのぼるような、そんな女性でなくてはならなかった。例をあげるなら、大映の藤村志保、東宝の八千草薫、東映の大川恵子などであり、現在、このタイプの若手女優は存在しない。演技力以前に、その女優のパーソナリティが問題なのである。実写の場合、それはカメラ写りや動作で判断されるが、声優の場合は当然、声の質である。



島本須美（しまもと すみ）。昭和29年12月8日生まれ。高知県出身。桐朋学園大学演劇科卒業。声優としての最初のレギュラーは「ザ・ウルトラマン」（昭54）の星ムツミ役。また、実写「ウルトラマン80」第4話には、ゲスト出演もしている。アニメのレギュラーは、近作「スプーンおばさん」のルウリイ役を久々につとめている。「銀河鉄道999」で、本家アリババ他のゲスト、「戦闘メカザブングル」のマリア（9話）などでも活躍。

島本須美の声は、やや硬質で抑揚が少なくわずかにハスキーだ。精巧なガラス細工を銀の棒で打ったような、そんな声である。声そのものがすでに、典雅で清楚なプリンセスの属性をおびているのだ。信沢三恵子のラナは、声質よりも演技の比重が高かった。それゆえ、正反対のコロスも演じられたのである。池田昌子のノーブルさも定評が、それも演技力と声質のバランスの上に成り立っているのだ。やはり、声のお姫さま女優と呼べるのは、島本須美だけのようである。

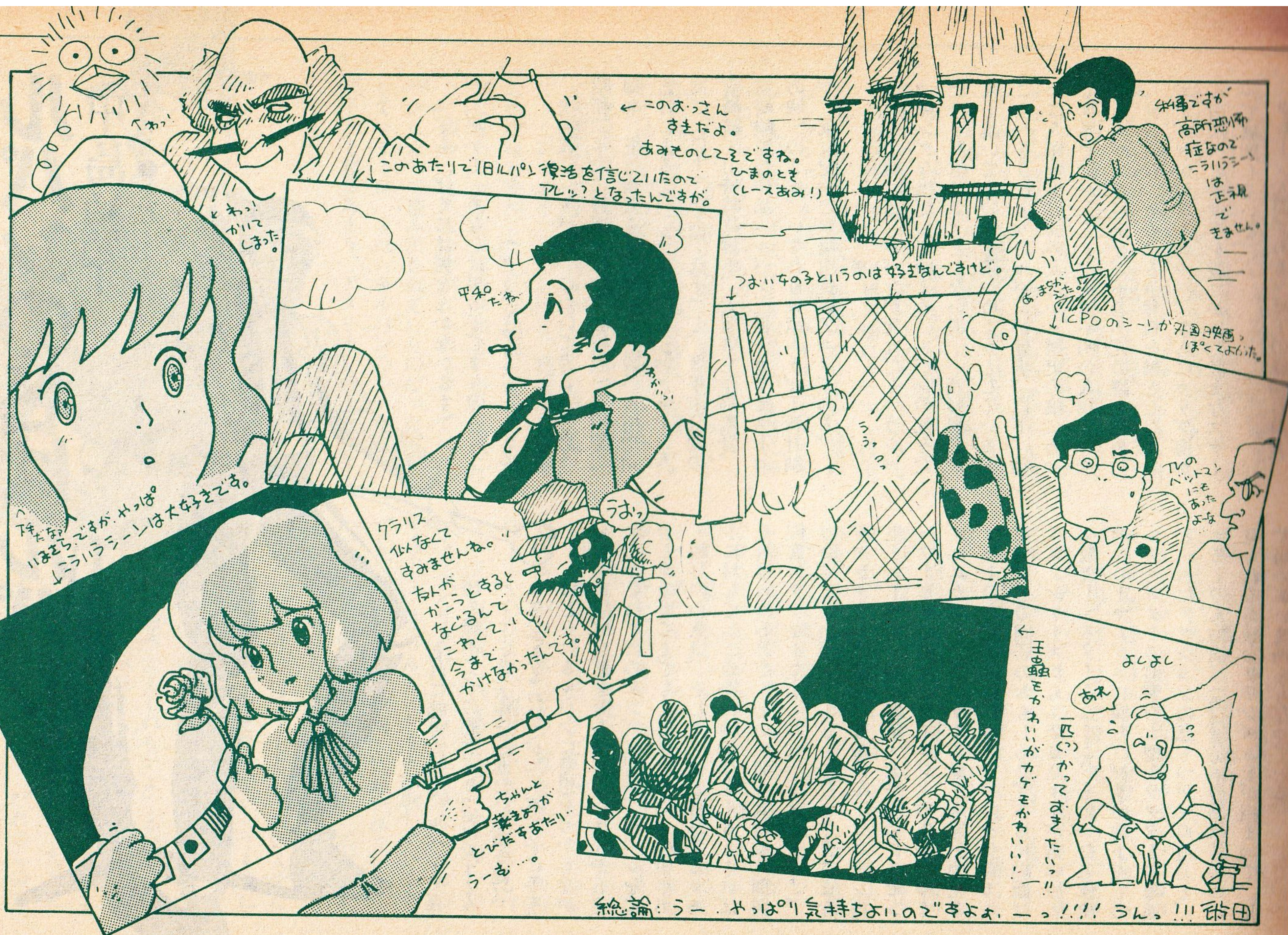
正直な話、現在のところ、島本須美の演技力はまだ充分とはいいがたい。しかし私は彼女に、通常の意味の演技力の向上を期待するものではない。それよりも天性の「お姫さまの声」にもっともっと磨きをかけてほしいのだ。声優だけでは生活ができないという状況を承知の上で、ファンのエゴとわかっていながら、私はそれをお願いしたい。

百年にひとり（©南田操氏）の逸材はクラリスにあらずして、実は島本須美だったのである。島本須美が「声のお姫さま女優」としての奥儀をきわめたとき――それは『風の谷のナウシカ』の後か？――その日、私たちは（あえて複数とする）真の「シマモト衝撃」を味わうことになるだろう。



筆者紹介／なるみ たけし。重度の「カリ城」ドランカーにして、某女性週刊誌特派記者。独身。

IMAGE ILLUSTRATION ●術田久美



●ゲストエッセイ

ルパンの名はルパン

中島紳介
イラスト●たかとうふみ



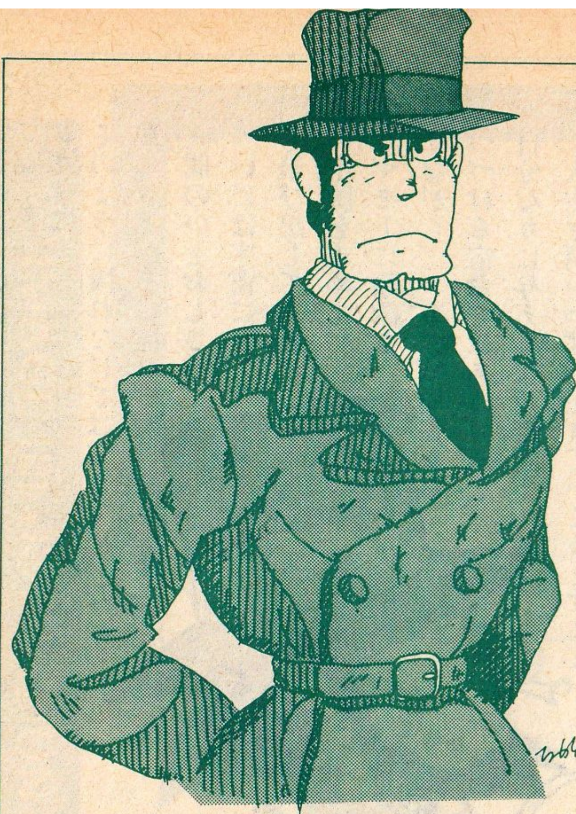
『でも、ぼくには翼なんかないよ!』
『だって、あなたは男の子ですもの!』
（「グーク・クリスタル」より）

映画版の「ルパン」について書こうと思う。昭和53年末に封切られた大和屋竺・吉川惣司脚本、椛島義夫・青木悠三作画監督、吉川惣司監督による「ルパン三世」（ルパンVSクローン人間）」（以下マモー編と略す）と、翌年末公開の宮崎駿・山崎晴哉脚本、大塚康生作画監督、宮崎駿監督作品「ルパン三世・カリオストロの城」の2本。いずれも東京ムービー新社制作、東宝配給の劇場用長編アニメである。

※

「マモー編」は、ルパンが死んだというショッキングな出だしで始まる。ルパンの死をただひとり信じようとしない男――銭形警部が墓を暴いてその死を確かめようとしているところへもうひとりのルパンが登場。以下、物語は人類誕生以前の太古から歴史の陰にあって世界を動かしてきた正体不明の人物・マモーとルパンの対決を、不老不死の謎を秘めた"賢者の石"をめぐる争奪戦を軸としながら、エジプトからヨーロッパ、さらにカリブ海から南米へと全世界を股にかけた壮大なスケールで展開していく。

クローン人間であるマモーの底知れぬ力、それに魅せられて、ルパンを裏切る峰不二子の悪女ぶり（実は愛するルパンとともに不死になりたいと願う健気な女心であるわけだが）、不二子に手玉にとられるルパンに愛想をつかしながらも、結局は友情を断ち切れない次元や五右ヱ門のそれぞれのダンディズム、ルパンを追って地の果てまでもかけめぐる執念の中年男・銭形の心意気、そして、神と自称するマモーに対して「この世に神が存在するとすれば、それはわれわれだ」といい切る大統領特別補佐官スタツキー（キッシンジャーそっくり!）の冷酷な政治哲学――といった、さまざまなキャラクターの魅力はもちろん、クローン再生・レーザー・静止衛星・大型空母アイゼンハワー等々の現代テクノロジーの先端をゆくメカニカルと、ファラオの墓、永遠を夢見るマモーの宮殿、遺跡都市といったクラシカルな背景との同居のおもしろさ。さらに画面は、007シリーズから「2001年宇宙の旅」「激突!」「スター・ウォーズ」といった名作映画へのオマージュに満ち、パリの地下道でのヘリコプターの追撃や大型トラクターの爆進といったアクションの息もつがせぬ迫力と、マモーの人物描写（西村晃の声の演技は絶品）に見られる奇妙なリリシズムとが相まって、見せ場の多い映画ともなっている。



特にマモーのキャラクターは透逸、ルパンが「とっちゃん坊や」と表現したこの少年みたいな奇怪な老人のイメージは、おそらくブライアン・デパルマのホラー・ファンタジィ・ミュージカル映画の傑作「ファントム・オブ・パラダイス」に登場する悪魔と契約したレコード界の帝王スワン（演ずるは歌手のポール・ウィリアムス）から来ていると思われるが、クローン細胞によって自分自身のコピー人間を作りつづけ、永劫(えいごう)のときを生きようとしている人物で、1万年の過去から人類の歴史を牛耳ってきたという途方もない敵役である。世界一の大富豪ハワード・ロックウッドとしての顔を持つ彼は、世界各地にクローン再生工場と歴史上の賢人や英雄のクローン人間のコレクションを持ち、核ミサイルによって米ソ二大国を脅迫することも容易な、まさに神の如き力を奪っているのだ。

しかし、その偉大な彼にも弱点があった。染色体による遺伝子の情報伝達は、完璧なものではなく、コピーを重ねると像がボヤけてくるように、クローン再生のくり返しの限界で粗悪品が生まれる確率がしだいに高くなってきたのである。だから彼は、賢者の石や奏の始皇帝が愛用したという仙薬、ドラキュラ城に伝わるマンドラゴラの根といった伝説にまで頼ろうとするのだが、それらはすでにルパンによって盗み出されていたのだった。そしてマモーは、それらをルパンの手から取り戻そうと焦るあまり、アメリカという強力な敵と正面から対決することになり、さらにはルパンというひとりの男のプライドを賭けた、反撃の前に敗北してゆく運命をたどることとなったのである。

クライマックス、五右ヱ門が残した斬鉄剣のかけらで必殺のレーザーをはね返され、コピーが黒こげになって焼け死んだあと、「私がオリジナルだ」といいながら特殊リンゲル液に浮かんだ巨大なマモーの脳髄が出現するシーンの感動というか衝撃は、ちょっと筆舌につくしがたい。シワだらけの脳ミソという最も人間的でありながら同時に、全く非人間的な姿になってまで生きつづけようとする男の哀しさ。これが「マモー編」の最大の魅力である。それはマモーが、塔の上から既に絶滅した古代の蝶を飛ばせて不二子に見せるシーンや、古今東西の美術品が炎に呑まれて消えてゆくのを見ながら、マモーが涙を流すシーンにも現われているように、流れゆく時の大河を一瞬でもいいから止めたい――美しさを、愛を、夢を、栄光を、あらゆる望みを永久にこの場に留めておきたいと願う人間のはかない想いの哀しさにほかならない。そして同時に、対するルパンや不二子の〝夢を見ない〟合理性――というより、現実を生きようとするバイタリティ（雨あられと降り注ぐミサイルの中でも平気で生き抜くアニメ・キャラならではの生命力！）までもしっかりと謳歌している点でも、ぼくは「マモー編」に惹かれてしまうのである。人間は永遠の美や若さ、不滅の生命に憧れるが、しかし短かい生を精いっぱい生きようとしないで何の人生だろうか。憧れはどこまでいっても憧れでしかないのだ。

「死んだのはルパン、きみのオリジナルのほうかもしれないよ」というマモーに、ルパンは「馬鹿野郎！　おれはおれだ！」と応える。このプライドこそがルパンをルパンたらしめ、人を人とたらしめる力である。だれのものでもない自分自身の生を自覚したとき、本当の人生というのはひろげてゆくも

のであるから。だから「マモー編」のたのしさは、そのように憧れだけでは生きていけないのに、常にさまざまに憧れつづけようとする人間のいとおしさを、ついには宇宙にまで飛び出して不死の王国を求めていくマモーに象徴させながら、一方で結局追われつづける宿命ではあるけれど、自分なりに与えられた時間――人生を精いっぱい生きていこうとするルパたちのたのもしさもまた存分に、画面のすみずみにまで生き生きと散りばめて描いているというところにあるのだ――だって、エンディングが三波春夫の「ルパン音頭」なんですもの、ボク笑っちゃいます――。

※

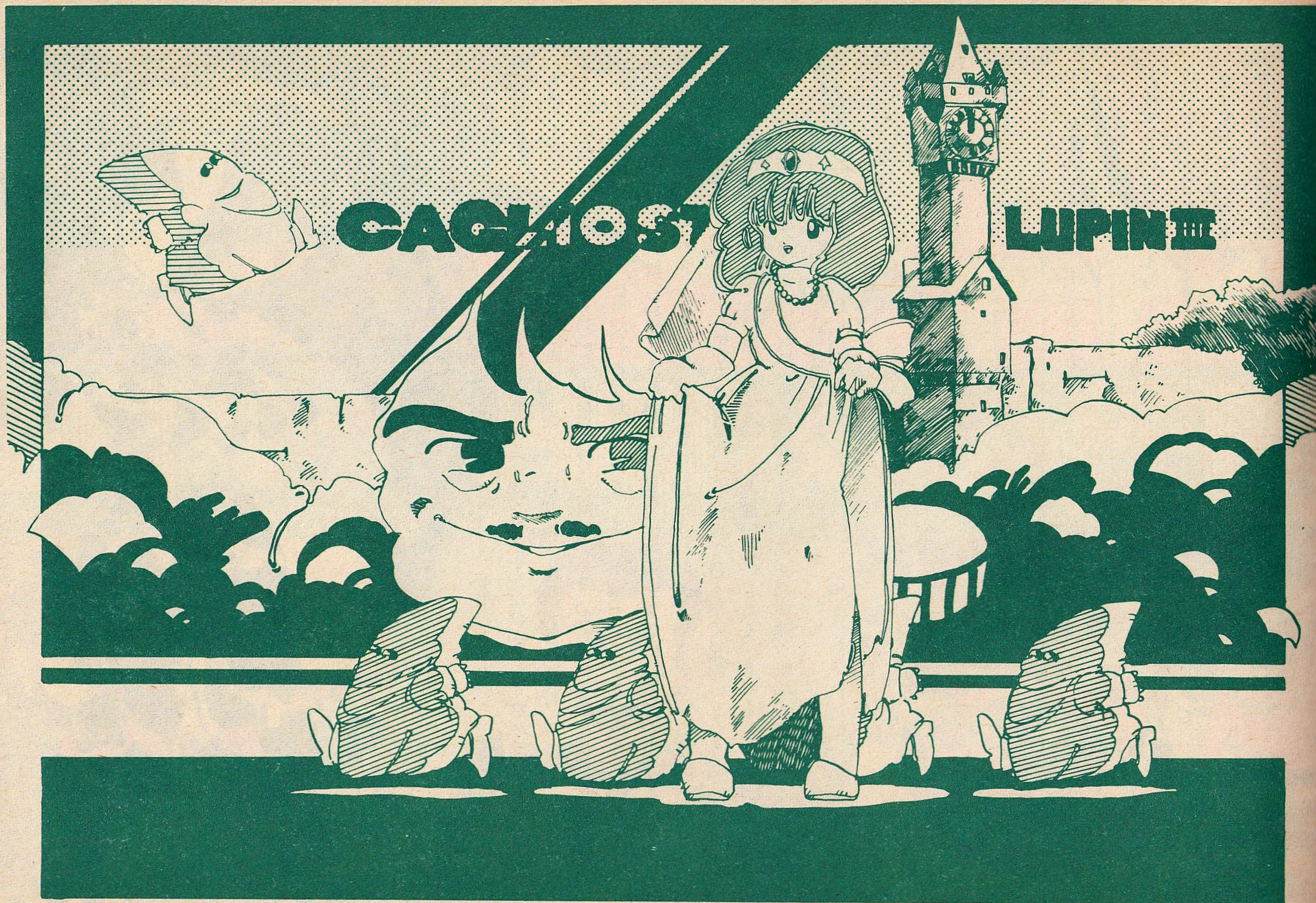
「マモー編」はそのSF仕立てのストーリーがルパン的ではないといった理由からか、「カリ城」に比べると一段下がった評価しか与えられていない感じなので「マモー編」ばかりをヨイショしてしまった。もちろん「カリオストロの城」はいまさら何をいってもムダというほどの傑作であり、ほとんど非の打ちどころがない。情けない話だが「カリ城」を観るとニセ札を盗み出すオープニングから主題歌「炎のたからもの」が流れ出すエンディングまで、ひたすら「すごい！ 楽しい！ おもしろい！」で終わってしまって、観終わったとたん「大変けっこうなアニメを見せていただきました。宮崎さんはじめ、スタッフ・キャストのみなさまに心より御礼申し上げます」という感じで、ため息をついてひたすら恐れ入ってしまう他ないのである。まさにアニメの至芸――国宝級の作品といってもいいと思う。

しかし、個人的にはこれはルパンではなくあくまでも宮崎駿の作品だという思いが強くするわけで、何やら老成して2枚目になってしまった「カリ城」のルパンより、あくまで3枚目を貫き通す「マモー編」のにぎやかなほうがより〝ルパン三世的〟であるという気がするのである。(あくまでも個人の趣味の問題であって「カリ城」が嫌いだというわけでは決してない。念のため)「マモー編」は話のスケールが大きいわりには画面的には平板な部分も多く、その意味でも「カリ城」の世界の奥行きまで感じさせる美術の見事さや、緩急自在の宮崎演出の妙など語るべきことは多いのだが、これはもう「まだ観てない人は絶対観なさい」というだけでいいのではないだろうか（あ、逃げた！）。

そして「カリ城」を観て気に入った人は、ついでに「ダーク・クリスタル」も名画座などで機会をつかまえて、ぜひ観てほしいと思う。男の子と女の子が主役のファンタジィ、しかも男の子を助けて女の子が大活躍するお話。そう、宮崎アニメそのままなのだ。おまけにガーシムという暗殺団カゲみたいな怪物は出るわ、〝光と影〟のアナロジーはあるわ、主人公はすぐ高いところへ登りたがるわ、お城も湖も遺跡も暗い洞窟も出てくるし、森の人々〝ポッド・ピープル〟はみんなで輪にな



IMAGE ILLUSTRATION ●内山 孝



って踊っちゃうし、もう、ゲーリー・カーツというプロデューサーは「スター・ウォーズ」もそうだけど、日本からアニメのビデオを取り寄せて日夜研究してるんじゃなかろうかと思うくらいなのだ。これはいわゆる人形劇と呼べる作品だが「マペット・ショー」で有名なフランク・オズの人形たちの魅力も十分で、特にヒロイン・キアラちゃんの愛らしさは特筆もの。日本語版を作るときはぜひ、島本須美さんに声をお願いしたい（ミスティックスの長老は宮内幸平、スケクシーの侍従長は永井一郎、にぎやかなおばさんオウグラはもちろん高橋和技——これっきゃない！）。

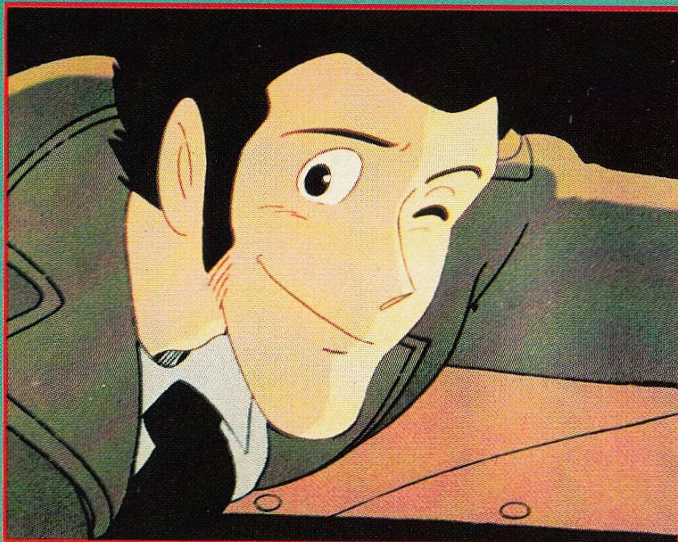
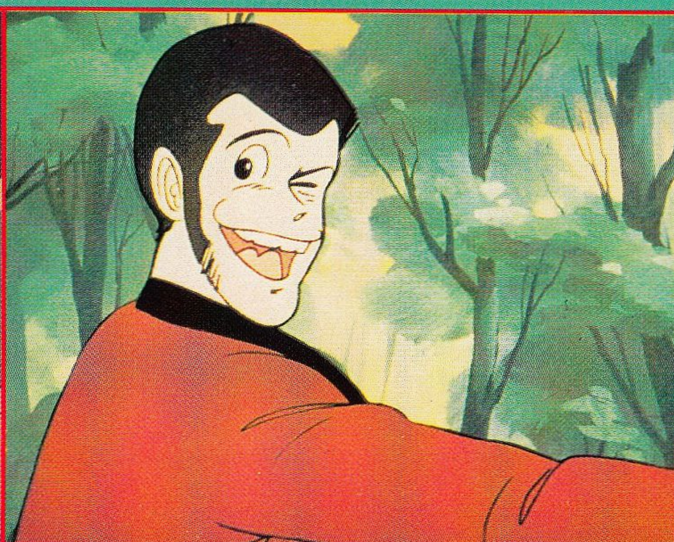
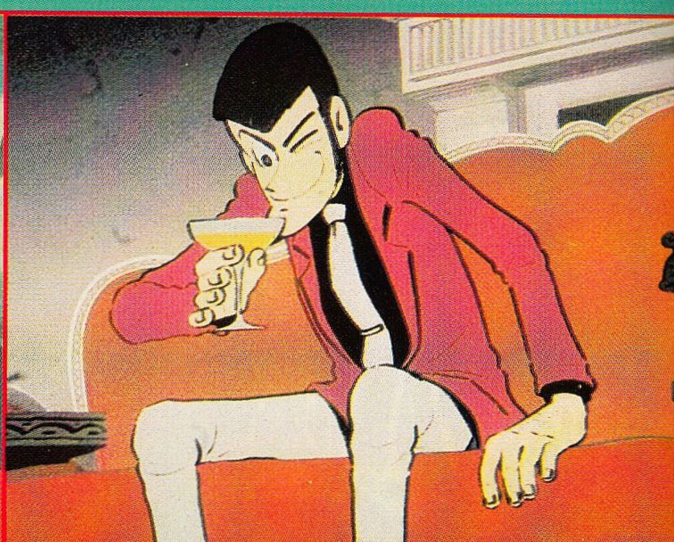
宮崎アニメの新作がなかなか見られない現在、そのエッセンスがこういう映画の中に生きているのを見るのは意外な喜びというべきだろうが「カリオストロ」以後の宮崎さんの作品が1日も早く見たいというのは、ファン共通の想いである。もちろん、ルパン三世の第3、第4の冒険を劇場で観たいという願いもまた——。



●CONTENTS

●STAFF

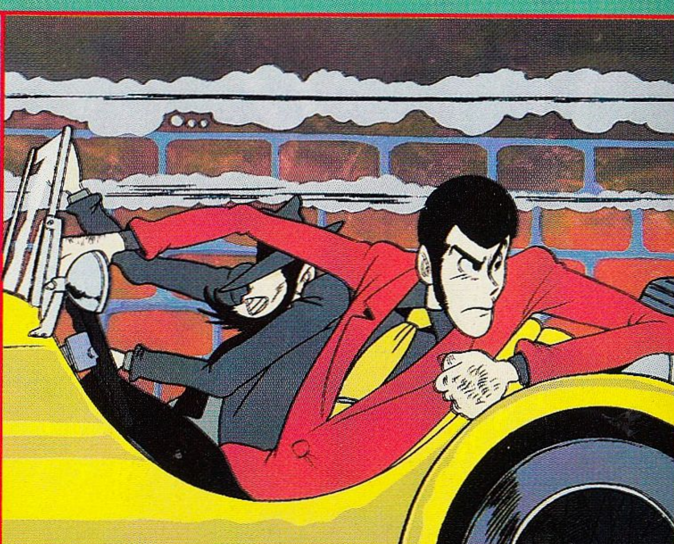
■構成／徳木吉春・町田知之
■表紙レイアウト／真野　薫
■本文レイアウト／庄内　真

LUPIN THE THIRD GRAFFITI

ルパンのパイロット版から、登場の待たれるルパン8世までをここに集約。いまひろがるルパン・ワールドの魅力をあなたに。





「ルパン三世」雑記

ルパン三世。その名まえは、アニメファンのだれもが知っていることだろう。そして、それぞれに好みを持ってファンとなっている人も多いにちがいない。劇場版2本、テレビシリーズ2本。単純に4種類のルパンが、アニメとして登場している。さらに、モンキー・パンチの原作を加えると5種類。ルパンには、その作風の多様性から、人気といってもどこがどうだからといえないところもある。そのルパンを、4種のアニメ作品にしぼって流れを考えてみよう。

旧シリーズ(昭46・10～47・9)と呼ばれるルパンは、一般に「早すぎたアニメ」といわれた。アダルトな洋画の世界を、アニメ作品として登場させるには早すぎたのである。それは、23本のシリーズ中に見せる方向転換によっても明らかとなっている。大隈ルパン、宮崎・高畑ルパンと二分されてしまうのも「早すぎた」ゆえの方向転換によってである。

しかし、旧シリーズは年月を重ねての再放送によって、作品の持つアダルトなイメージと、アニメ特有のコミカルな動きがファンをつかみ、昭和52年には新作がみごとにカムバックを果たしてしまうのだった。

その新シリーズ(昭和52・10～55・9)が、どうだったかというと、アダルトなルパンを夢みていたファンには頭痛のタネを与えたが、低年齢層をもひきつけた点では、明らかに旧作を越えてしまったのだ。それは、照樹務というペンネームで宮崎駿が演出した145話と155話になじめないファンがいる点で、ひとつの考察を生んだ。新・旧シリーズのファンは、必ずしも同一層ではないらしいということである。また、新シリーズ放映中に公開された劇場版によって、ファン層は新たな層をも巻き込み、ルパンファンは、多様細分化してしまったのである。

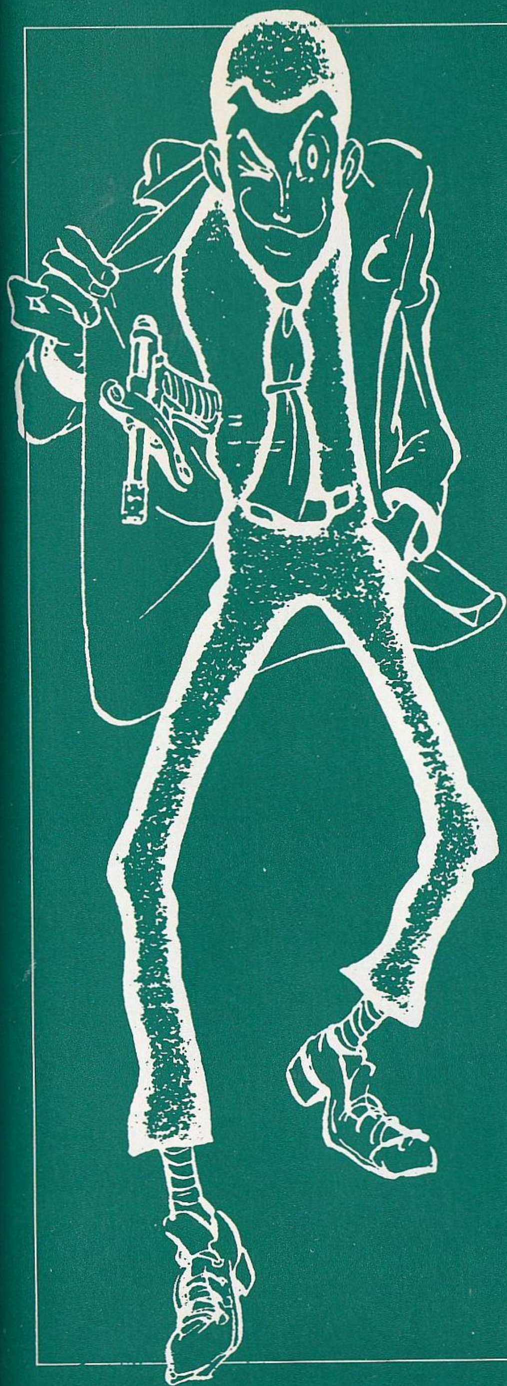


劇場用第1作「ルパン三世」(昭53・12公開)は、俗にマモー編と呼ばれ、その作品世界をアダルトな旧ルパンに近づけた。

それは、新・旧両ファンや洋画ファンをもつかみ、ヒット作となった点で成功といえる一方、映画のパロディをとりいれすぎて、効果的に失敗している点もある。とはいえマモー編はアダルト・ルパン復活！という喜びをファンにくれたのだから、もう感謝感激なのでした♥

そして、もう一方の劇場版「ルパン三世・カリオストロの城」(昭54・12公開)は、旧作・新作という境のない、本来のアニメ映画を見せてくれた作品であった。が、それがかえってルパンが、ルパン本来でないように映ってしまうことからか、ルパンファンよりマンガ映画ファンを歓喜させ、根強い人気を得た。さらには、久々のビッグ・ヒロインとして少女クラリスには、公開から3年を経過したいまでもファンが多い。

このようにし、ルパンたちはさまざまの味を持って、われわれファンを魅了しているのだ。そして、いま新たに「ルパン8世」が、その出番を待っているのである。(文責・町田知之　なお文中の敬称は省略させていただきました)



CHARACTER FILE-1

ルパン三世



VOICE：山田康雄

「おれの名はルパン三世。かの名高き怪盗ルパンの孫だ。世界中の警察がおれに血マナコ、ところがこれが捕まらないんだなァ。まァ、自分でいうのは何だけど、狙った獲物は必ず奪う、神出鬼没の大泥棒、それがこのおれ、ルパン三世だ」(旧作・オープニングより)



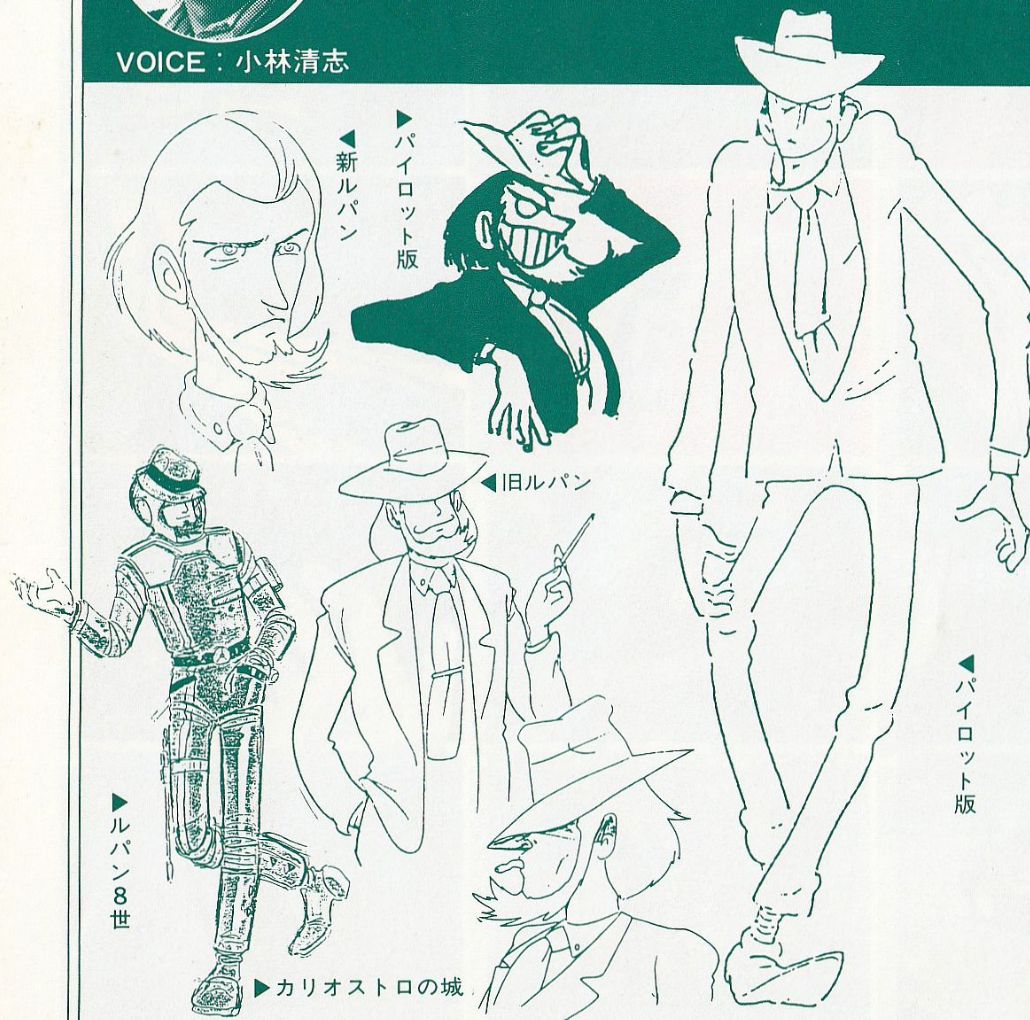
CHARACTER FILE-2

次元大介



VOICE：小林清志

「次元大介。おれの相棒。早撃ち0.3秒のプロフェッショナル。クールなガンマン！　そのうえ、義理固く頼りになる男」(旧作・オープニングより)



ENTER THE LUPIN

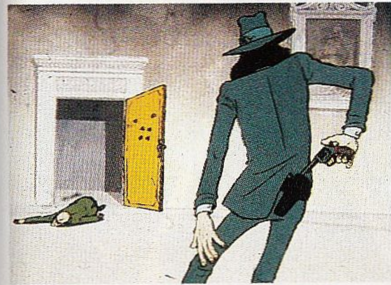








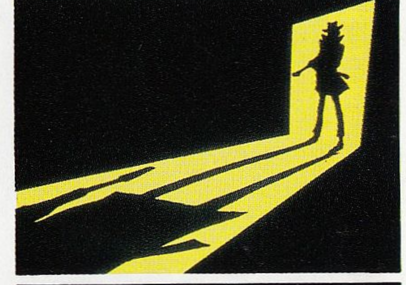










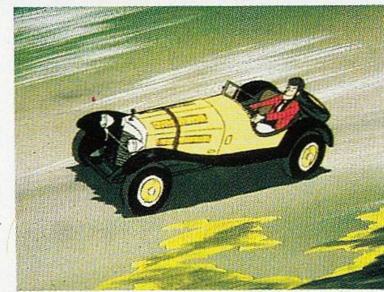


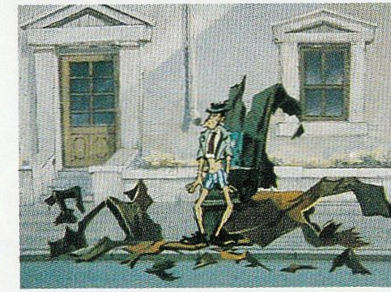










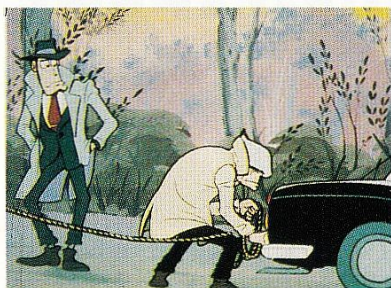
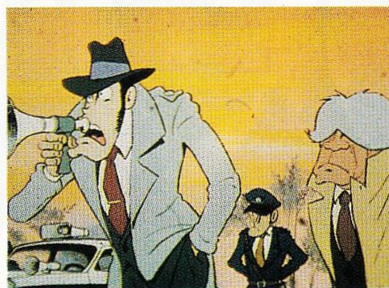




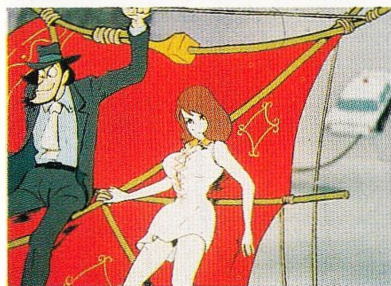


「ルパン三世」のパイロット・フィルムを誌上でリピート。キャラクター設定は芝山努、演出は旧「ルパン三世」の大隅正秋、そして作画には大塚康生が参加している。

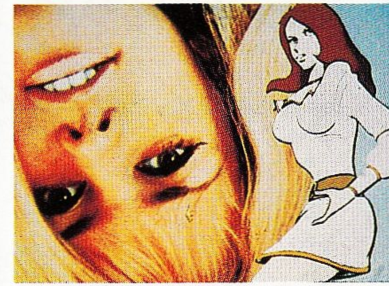


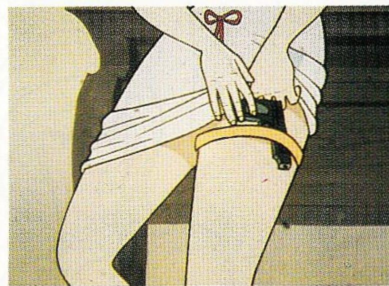





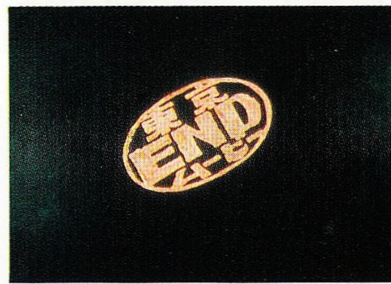




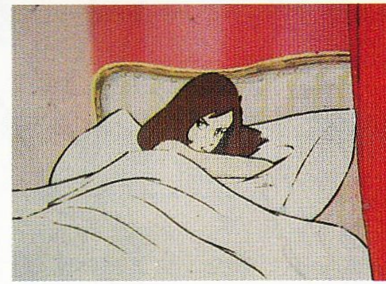
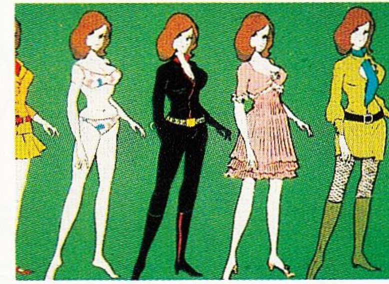










PILOT FILM REPEAT

CHARACTER FILE-4

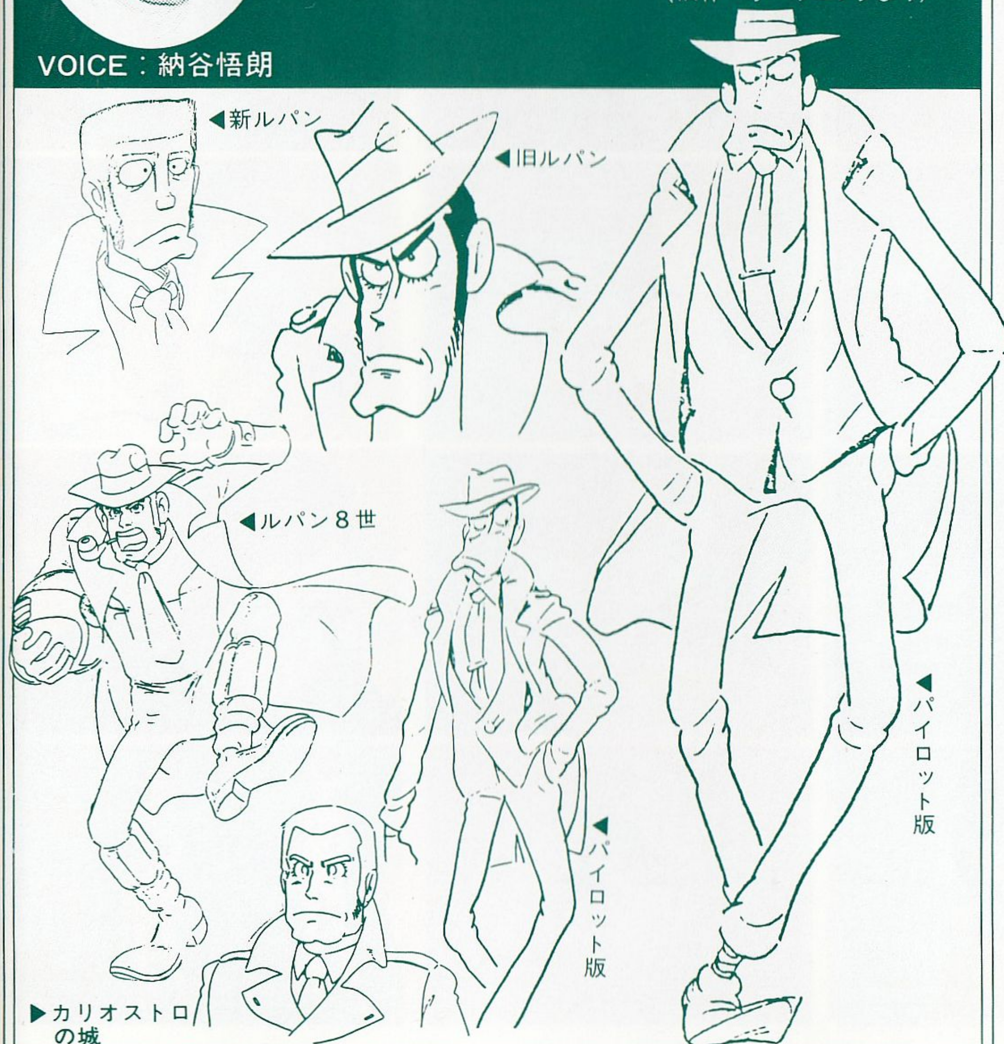
銭形警部



VOICE：納谷悟朗

「銭形刑事。ご存じ、銭形平次の子孫。警視庁の敏腕警部。おれを捕まえるのを生きがいとする、おれのもっとも苦手なとっつあんだ」

（旧作・オープニングより）



CHARACTER FILE-3

十三代目 石川五右ェ門

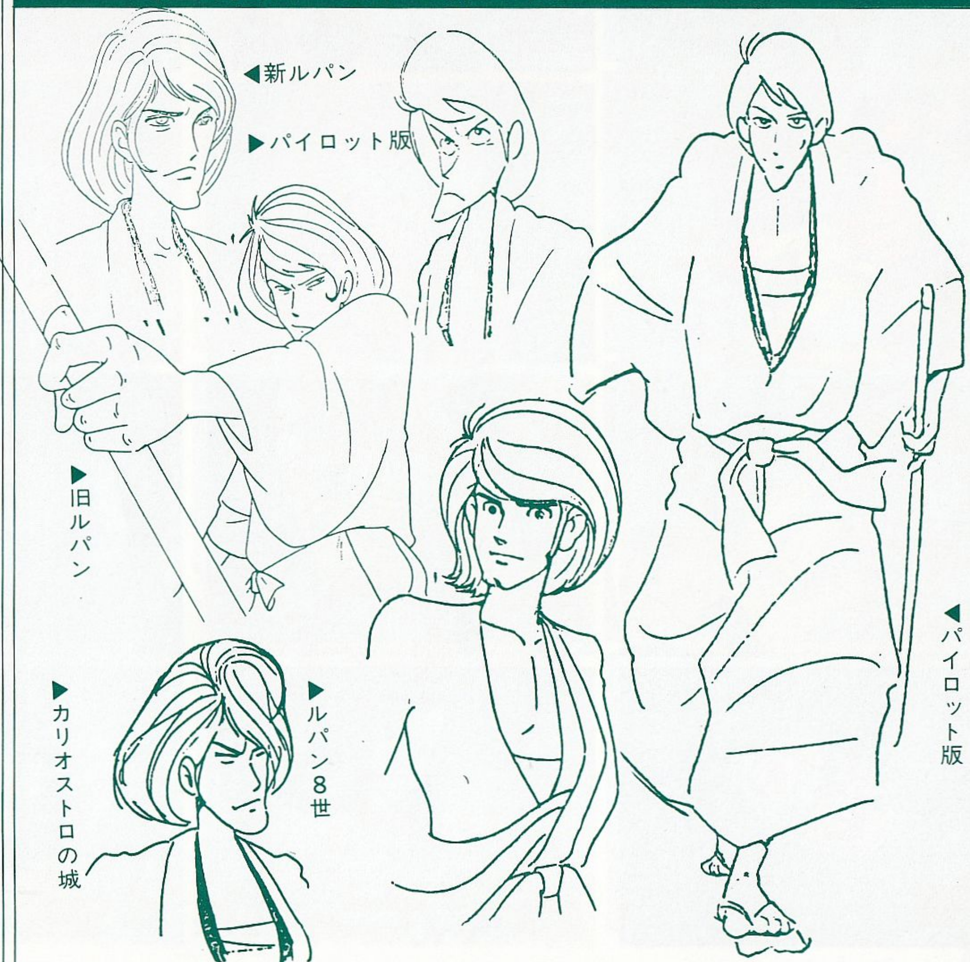




VOICE：井上真樹夫　：大塚周夫（旧作）

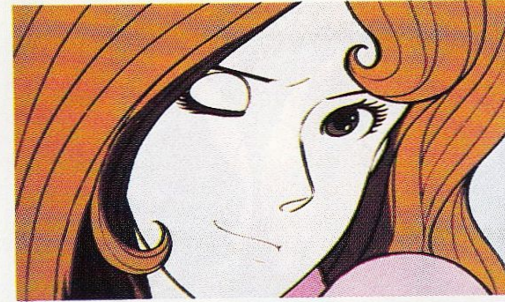
「13代目石川五右ェ門。いにしえの大泥棒・石川五右ェ門の末えい。居合抜きの達人、何でも真っ二つにしちまう、怒らせるとコワーイ男」

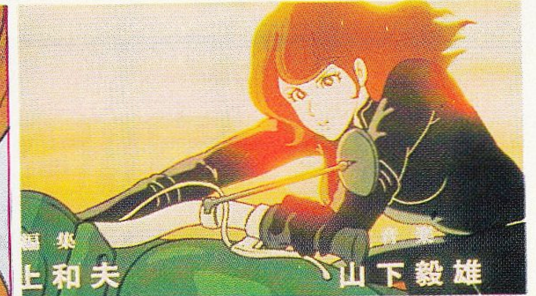
（旧作・オープニングより）

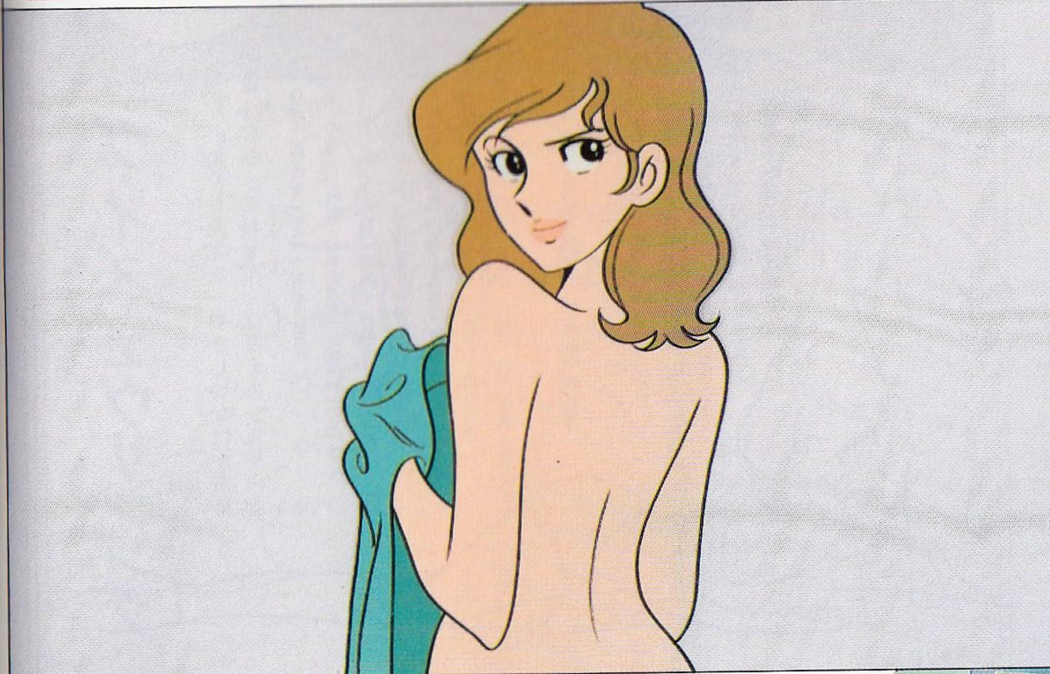




















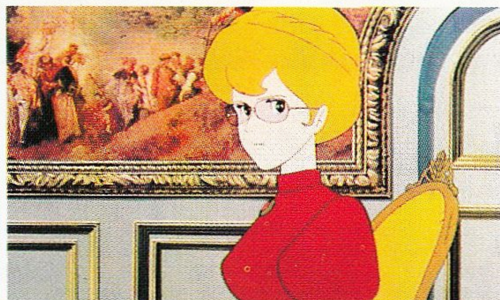


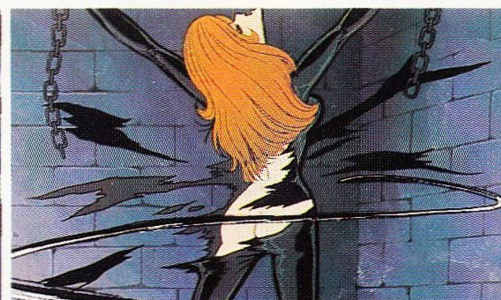
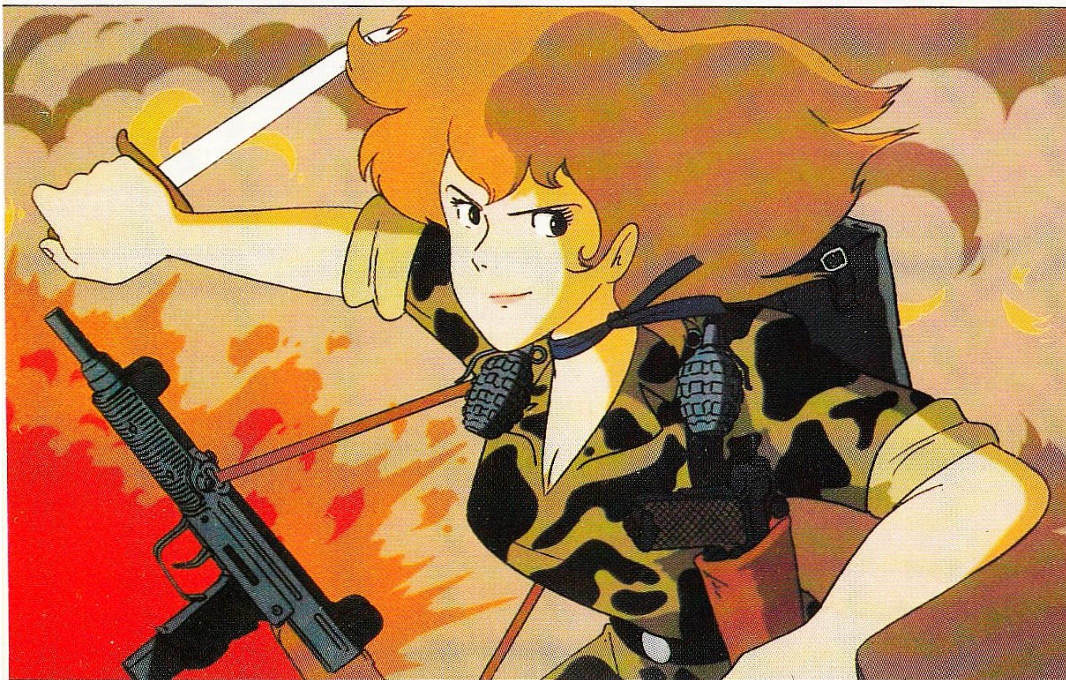
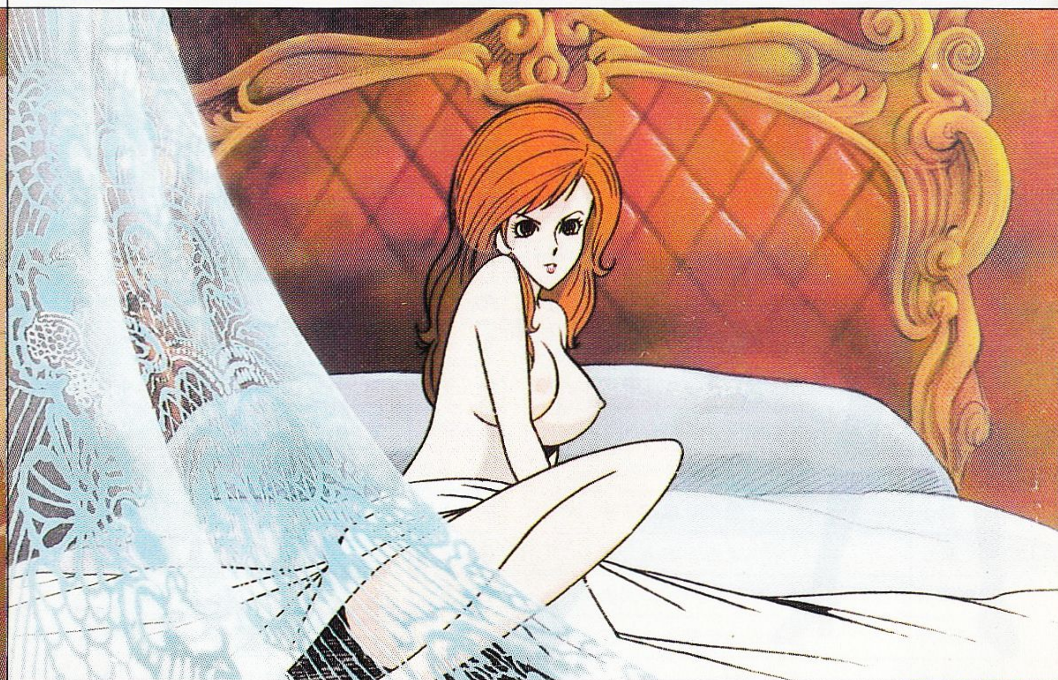
A DATE:
MONO□STEREO□
DOLBY NR: ON□OFF□

B DATE:
MONO□STEREO□
DOLBY NR: ON□OFF□

A DATE:
MONO□STEREO□
DOLBY NR: ON□OFF□

B DATE:
MONO□STEREO□
DOLBY NR: ON□OFF□







A	DATE: MONO□STEREO□ DOLBY NR: ON□OFF□
B	DATE: MONO□STEREO□ DOLBY NR: ON□OFF□

A	DATE: MONO□STEREO□ DOLBY NR: ON□OFF□
B	DATE: MONO□STEREO□ DOLBY NR: ON□OFF□



●映画「ルパン三世」より



新「ルパン三世」オープニング・テーマ曲
作詞・千家和也　作曲・大野雄二

ルパン三世のテーマ

1 真っ赤な薔薇は　あいつの唇
やさしく抱きしめて
くれとねだる
瞳の奥に　獲物を映して
さびしく問いかける　愛の在りか
男には　自分の世界がある
たとえるなら
空をかける　ひとすじの流れ星
孤独な笑みを　夕陽にさらして
背中で泣いてる　男の美学

2 真珠の色は　あいつのまなざし
遥かな幸せを　夢に描く
いためることを　恐れるあまりに
冷たく突き放す　愛もあるさ
男には　自分の世界がある
たとえるなら
風をはらい　荒くるう稲光
都会の闇に　体を溶かして
口笛吹いてる　男の美学

ルパン三世



〈メイン・スタッフ〉　製作／藤岡豊　原作／モンキー・パンチ　脚本／大和屋竺　吉川惣司　レイアウト／芝山努　音楽／大野雄二　選曲／鈴木清司　作画監督／椛島義夫　青木悠三　美術／阿部行夫　撮影／黒木敬七　録音／加藤敏　編集／相原義彰　監督／吉川惣司　監修／大塚康生
〈声の出演〉　山田康生　増山江威子　小林清志　井上真樹夫　納谷悟朗　西村晃　飯塚昭三　槐柳二　柴田秀勝　大平透　富田耕生　島俊介　他



●映画「ルパン三世 カリオストロの城」より



「ルパン三世 カリオストロの城」テーマ曲
作詞・橋本淳　作曲・大野雄二

炎のたからもの

幸せをたずねて　私は行きたい
いばらの道も　凍つく夜も
二人で渡って行きたい
旅人の寒い心を
誰が抱いてあげるの
誰が夢をかなえてくれる
炎と燃えさかる　私のこの愛
あなたにだけは　わかってほしい
きずなで私を　つつんで
こうやをさすらうあなたを
眠らせてあげたいの
流れ星はあなたのことね
炎と燃えさかる　私のこの愛
あなたにだけ　わかってほしい
なぞめくきりも　晴れていく

ルパン三世
カリオストロの城



〈メイン・スタッフ〉　製作／藤岡豊　プロデューサー／片山哲生　原作／モンキー・パンチ　脚本／宮崎駿　山崎晴哉　音楽／大野雄二　選曲／鈴木清司　作画監督／大塚康生　美術／小林七郎　撮影／高橋宏固　録音／加藤敏　編集／鶴渕允壽　監督／宮崎駿　〈声の出演〉　山田康雄　増山江威子　小林清志　井上真樹夫　納谷悟朗　島本須美　石田太郎　宮内幸平　永井一郎　常泉忠通　梓欣造　平林尚三　寺島幹夫　野島昭生　他

ルパン三世 チェック・リスト —①

話数	放映日	タイトル	脚本
1	10/24	ルパンは燃えているか……!?	山崎忠昭
2	10/31	魔術師と呼ばれた男	大和屋竺
3	11/7	さらば愛しき魔女	宮田　雪
4	11/14	脱獄のチャンスは一度	さわきとおる
5	11/21	十三代 五ェ門登場	山崎忠昭
6	11/28	雨の午後はヤバイぜ	松岡清治
7	12/5	狼は狼を呼ぶ	大和屋竺
8	12/12	全員集合トランプ作戦	宮田　雪
9	12/19	殺し屋はブルースを歌う	さわきとおる
10	12/26	ニセ札づくりを狙え	さわきとおる
11	1/2	7番目の橋が落ちるとき	宮田　雪
12	1/9	誰が最後に笑ったか	鶴見和一
13	1/16	タイムマシンに気をつけろ！	宮田　雪
14	1/23	エメラルドの秘密	宮田　雪
15	1/30	ルパンを捕まえてヨーロッパへ行こう	松岡清治
16	2/6	宝石横取り作戦	七條　門
17	2/13	罠にかかったルパン	七條　門
18	2/20	美人コンテストをマークせよ	松岡清治
19	2/27	どっちが勝つか三代目！	小山俊一郎
20	3/5	ニセルパンを捕えろ！	七条　門
21	3/12	ジャジャ馬娘を助けだせ！	松岡清治
22	3/19	先手必勝コンピュータ作戦！	宮田　雪
23	3/26	黄金の大勝負！	田村多津夫

■ルパン三世　S46.10.24～S47.3.26
〈メイン・スタッフ〉　作画監督／大塚康生　美術監督／千葉秀雄・伊藤雅人　撮影監督／三沢勝治　録音監督／田代敦巳　編集／井上和夫　音楽／山下毅雄　演出／大隅正秋・Aプロダクション演出グループ

話数	放映日	タイトル	脚本
1	10/3	ルパン三世颯爽登場	山崎忠昭
2	10/10	リオの夕陽に咲く札束	今野　籙
3	10/17	ヒトラーの遺産	金子　裕
4	10/24	ネッシーの唄が聞こえる	大和屋竺
5	10/31	金塊の運び方教えます	城山　昇
6	11/7	ピサの斜塔は立っているか	金子　裕
7	11/14	ツタンカーメン三千年の呪い	金子　裕
8	11/21	ベネチア超特急	今野　籙
9	11/28	浮世絵ブルースはいかが	毛利　蘭
10	12/5	ファイルM1、2、3を盗め	城山　昇
11	12/12	モナコGPに賭けろ	今野　籙
12	12/19	大統領への贈り物	城山　昇
13	12/26	サンフランシスコ大追跡	金子　裕
14	(53) 1/9	カリブ海の大冒険	山崎忠昭
15	1/16	名探偵空をゆく	金子　裕
16	1/23	二つの顔のルパン	田上　雄
17	1/30	オイルダラーを狙え	田上　雄
18	2/6	ブラックパンサー	金子　裕
19	2/13	十年金庫は破れるか	城山　昇
20	2/20	追いつめられたルパン	小山俊一郎 大久保昌一郎
21	2/27	五右ェ門の復讐	皿田オイル
22	3/6	謎の女人館を探れ	城山　昇
23	3/13	第4次元の魔女	大和屋竺
24	3/20	怪盗ねずみ小僧現わる	宮田　雪
25	3/27	必殺鉄トカゲ見参	城山　昇
26	4/3	バラとピストル	大和屋竺
27	4/10	シンデレラの切手はどこへいった	金子　裕
28	4/17	女刑事メロン	金子　裕

話数	放映日	タイトル	脚本
29	4/24	電撃ハトポッポ作戦	大和屋竺
30	5/1	モロッコの風は熱く	城山　昇
31	5/8	白夜に向かって撃て	大和屋竺
32	5/15	ルパンは二度死ぬ	大和屋竺
33	5/22	オリオンの王冠は誰のもの	七條　門
34	5/29	吸血鬼になったルパン	宮田　雪
35	6/5	ゴリラギャングを追っかけろ	七條　門
36	6/12	月影城の秘密をあばけ	七條　門
37	6/19	ジンギスカンの埋蔵金	宮田　雪
38	6/26	ICPOの甘い罠	金子　裕
39	7/3	香港の夜空にダイヤは消えた	今野　籙
40	7/10	ミサイルジャック作戦	毛利　蘭
41	7/17	かぐや姫の宝を探せ	宮田　雪
42	7/24	花嫁になったルパン	山浦弘靖
43	7/31	北京原人の骨はどこに	毛利　蘭
44	8/7	消えた特別装甲車	今野　籙
45	8/14	殺しはワインの匂い	奥山貞行
46	8/21	ルパンお高く売ります	城山　昇
47	8/28	女王陛下のズッコケ警部	高橋伴明
48	9/4	非常ベルにルパンは笑う	今野　籙
49	9/11	可愛いい女には毒がある	つるもみすけ 今野　籙
50	9/18	私が愛したルパン（前）	金子　裕
51	9/25	私が愛したルパン（後）	金子　裕
52	10/2	エマニエルは天使のささやき	金子　裕
53	10/9	狂気のファントマ・マークIII	金子　裕 掛川正幸
54	10/16	半七刑事十年目の約束	大久保昌一良
55	10/23	花吹雪謎の五人衆（前）	高階秋成
56	10/30	花吹雪謎の五人衆（後）	高階秋成

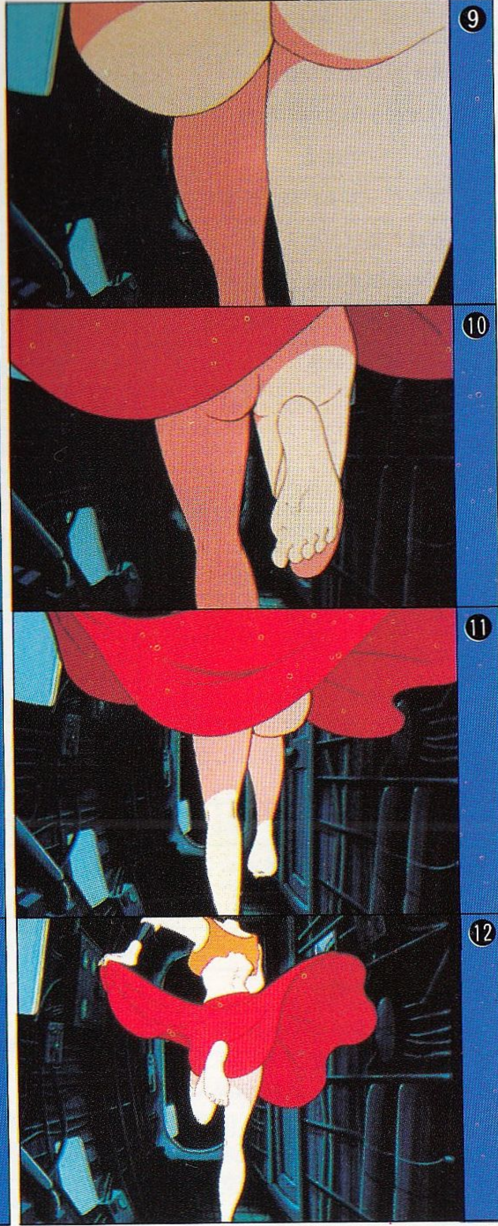
話数	放映日	タイトル	脚本
57	11/6	コンピューターかルパンか	四十物光男
58	11/13	国境は別れの顔	金子　裕
59	11/20	マダムXの不思議な世界	杉村のぼる
60	11/27	インドに自殺の花の咲く	大原清秀
61	12/4	空飛ぶ斬鉄剣	大久保昌一良
62	12/11	ルパンを呼ぶ悪魔の鐘の音	金子　裕
63	12/18	罠には罠を	四十物光男
64	12/25	クリスマスは女神の手に	高階秋成
65	(54) 1/8	ルパンの敵はルパン	山崎忠昭
66	1/15	射殺命令!!	高階秋成
67	1/22	ルパンの大西遊記	大原清秀
68	1/29	カジノ島・逆転また逆転	浦沢義雄
69	2/5	とっつあんの惚れた女	杉村のぼる
70	2/12	クラシック泥棒と九官鳥	宮田　雪
71	2/19	ルパン対新選組	大久保昌一郎
72	2/25	スケートボード殺人事件	宮田　雪
73	3/5	花も嵐も泥棒ラリー	金子　裕
74	3/12	恐怖のカメレオン人間	大原清秀
75	3/19	不二子に花嫁衣装はにあわない	金子　裕
76	3/26	シェークスピアを知ってるかい	高階秋成
77	4/2	星占いでルパンを逮捕	宮田　雪
78	4/9	ロボットの瞳にダイヤが光る	浦沢義雄
79	4/16	ルパン葬送曲	高階秋成
80	4/23	最後の差入れはカップラーメン	金子　裕
81	4/30	不二子！男はつらいぜ	高階秋成
82	5/7	とっつあん人質救出作戦	四十物光男
83	5/14	ルパンの大西部劇	大原清秀
84	5/21	復讐はルパンにまかせろ	高階秋成

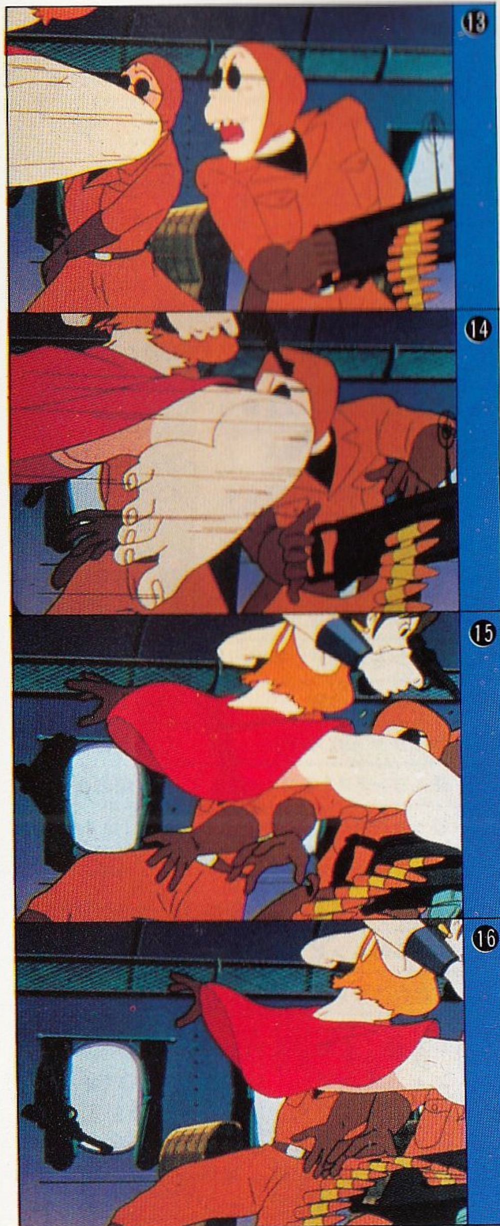
峰不二子FULL ACTION

♥新「ルパン三世」145話「死の翼アルバトロス」より
不二子の華麗なるファイティング・アクションを再録♥

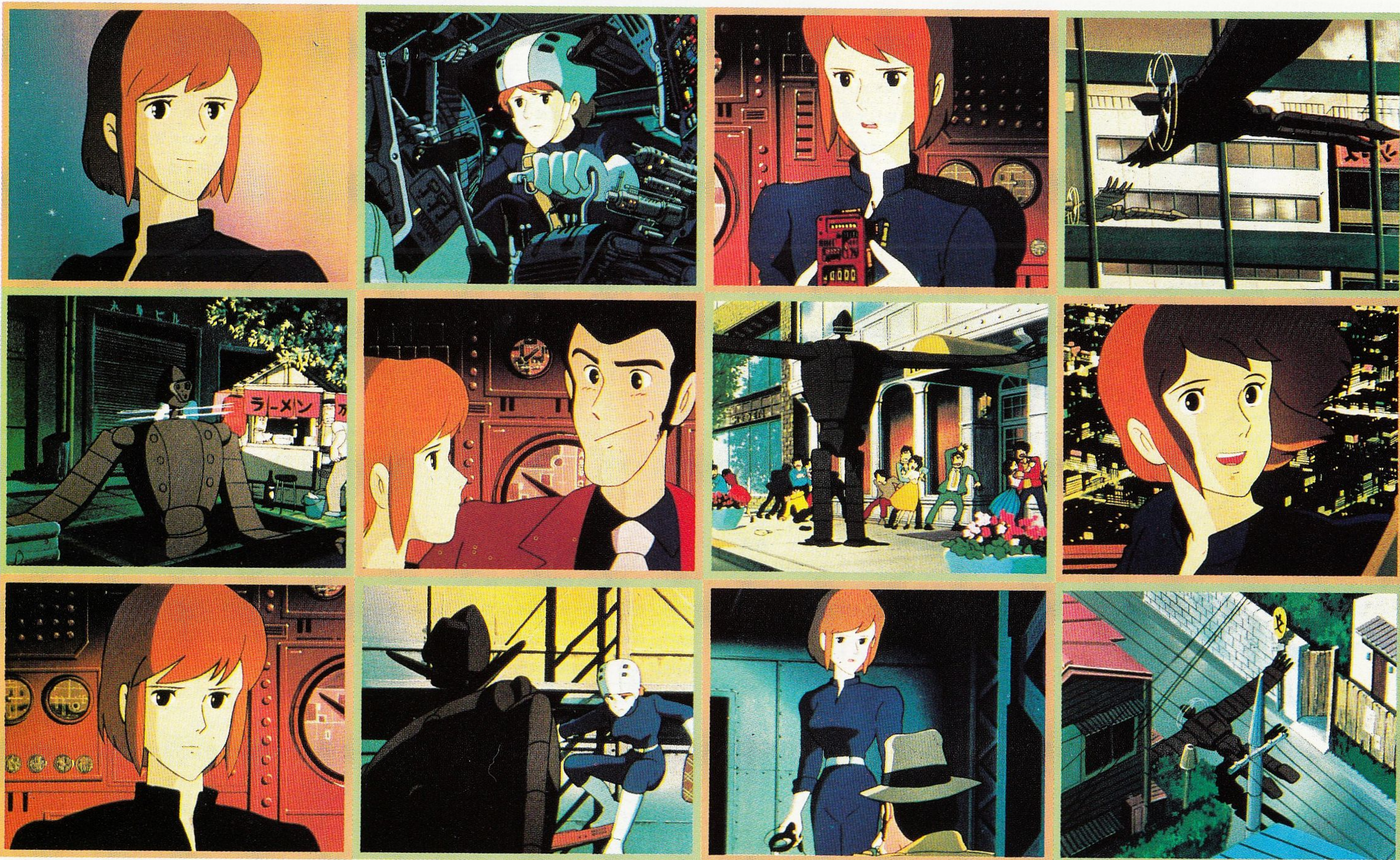








MAKI OYAMADA & LAMBDA THE ROBOT



第155話「さらば愛しきルパン」より



話数	放映日	タイトル	脚本
85	5/28	ＩＣＰＯ㊙指令	高階秋成
86	6/4	謎の夜光仮面現わる	宮田　雪
87	6/11	悪魔がルパンを招くとき	杉村のぼる
88	6/18	ルパンの南極北極大冒険	鈴木岬一
89	6/25	ドロボウ交響曲を鳴らせ	四十物光男
90	7/2	悪い奴ほど大悪党	浦沢義雄
91	7/9	時を駆ける少女	大久保昌一郎
92	7/16	マダムと泥棒四重奏	浦沢義雄
93	7/23	万里の長城インベーダー作戦	大原清秀
94	7/30	ルパン対スーパーマン	鈴木岬一
95	8/6	幽霊船より愛をこめて	杉村のぼる
96	8/13	ルパンのお料理天国	金子　裕
97	8/20	ルパン一世秘宝を捜せ	山崎忠昭
98	8/27	父っつあんのいない日	高階秋成
99	9/3	荒野に散ったコンバットマグナム	大和屋竺
100	9/10	名画強奪ウルトラ作戦	浦沢義雄
101	9/17	ベルサイユは愛に燃えた	大久保昌一郎
102	9/24	ルパンはシャネルがお好き	高階　航
103	10/1	狼は天使を見た	大和尾竺
104	10/8	もっとも危険な黄金ベッド	高階　航
105	10/15	怪奇鬼首島に女が消えた	宮田　雪
106	10/22	君はネコぼくはカツオ節	浦沢義雄
107	10/29	結婚指輪は呪いの罠	四十物光男
108	11/5	哀しみの斬鉄剣	岡本一郎
109	11/12	ルパン史上最大の苦戦	杉村のぼる
110	11/19	激写これが不二子だ	杉江慧子
111	11/26	インベーダー金庫は開いたか	高階　航
112	12/3	五右ェ門危機一髪	金子　裕

話数	放映日	タイトル	脚本
113	12/10	作戦名は忠臣蔵	大久保昌一郎
114	12/17	迷画最初の晩餐の秘密	宮田　雪
115	12/24	モナリザは二度微笑う	金子　裕
116	12/31	108つの鐘は鳴ったか	宮田　雪
117	(55) 1/7	チューインガム変装作戦	浦沢義雄
118	1/14	南十字星がダイヤに見えた	大原清秀
119	1/21	ルパンを殺したルパン	大原清秀
120	1/28	フランケンシュタイン ルパンを襲う	宮田　雪
121	2/4	オレの爺さんが残した宝物	杉江慧子
122	2/11	珍発見ナポレオンの財宝	変階　航
123	2/18	泥棒はパリで	高階　航
124	2/25	1999年ホップコーンの旅	浦沢義雄
125	3/3	オイルダラーの大謀略	杉村のぼる
126	3/10	地獄へルパンを道づれ	杉村のぼる
127	3/17	直撃デッドボール作戦	大原清秀
128	3/24	老婆とルパンの泥棒合戦	浦沢義雄
129	3/31	次元に男心の優しさをみた	金子　裕
130	4/7	ルパン対奇人二面相	大久保昌一郎
131	4/14	二人五右ェ門斬鉄剣の謎	黒木芳久
132	4/21	霊山ヒマラヤの泥棒教団	高屋敷英夫
133	4/28	熱いお宝に手を出すな	杉江慧子
134	5/5	ルパン逮捕頂上作戦	宮田　雪
135	5/12	毒薬と魔術とルパン三世	三島久乃 荒木芳久
136	5/19	華麗なるチームプレイ作戦	杉　和幸
137	5/26	ゴールドバタフライの復讐	四十物光男
138	6/2	ポンペイの秘宝と毒蛇	うらさわよしお
139	6/9	ルパンのすべてを盗め	金子　裕
140	6/16	狼は走れ豚は転がれ！	高階　航

話数	放映日	タイトル	脚本
141	6/30	1980モスクワ黙示録	高階秋成
142	7/7	グランドレース消えた大本命	大久保昌一郎
143	7/14	マイアミ銀行襲撃記念日	うらさわよしお
144	7/21	不二子危機一髪救出作戦	杉村　桂
145	7/28	死の翼アルバトロス	照樹　務
146	8/4	ルパン華麗なる敗北	四十物光男
147	8/11	白夜に消えた人魚	いとうまさお
148	8/18	ターゲットは555M	金子　裕
149	8/25	ベールをはいだメッカの秘宝	高階　航
150	9/1	ピアノ交響曲「動物園」	大久保昌一郎
151	9/8	ルパン逮捕ハイウエイ作戦	宮田　雪
152	9/15	次元と帽子と拳銃と	杉村のぼる
153	9/22	神様のくれた札束	金子　裕
154	9/29	ヘクサゴンの大いなる遺産	高階　航
155	10/6	さらば愛しきルパンよ	照樹　務

■ルパン三世（新）Ｓ52.10.3～Ｓ55.10.6
〈メイン・スタッフ〉　企画／吉川　斌　プロデューサー／高橋靖二・高橋美光　音楽／大野雄二　文芸担当／飯岡順一　制作担当／仙石鎮彦・堀越徹（第52話より）作画監督／北原健雄・朝倉隆・児玉兼嗣他　演出／御厨恭輔・棚橋一徳他　シリーズ構成／大和屋竺（第52話より）　監修／鈴木清順

●映画

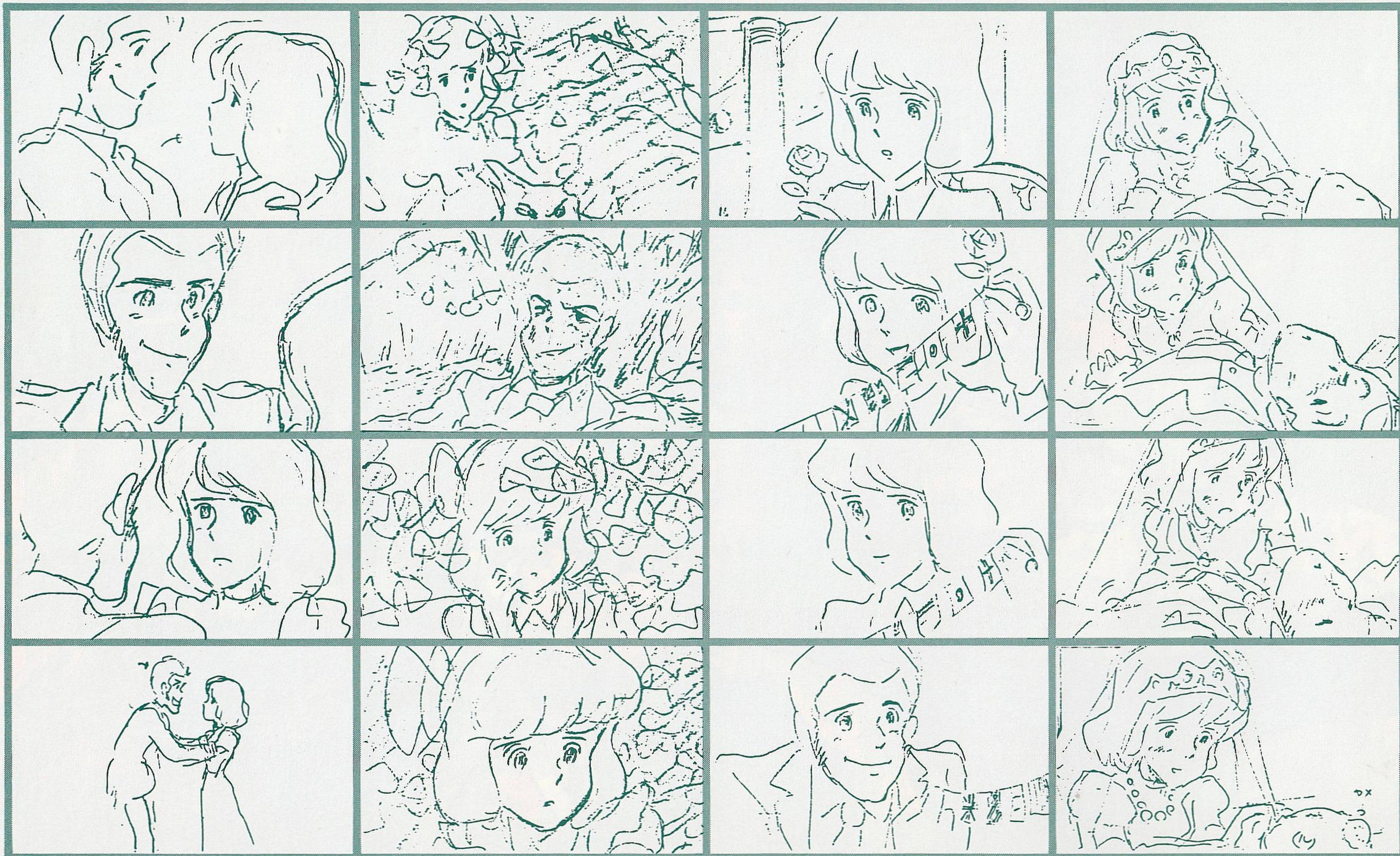
1	(53) 12/16	ルパン三世	大和屋竺 吉川惣司
2	(54) 12/15	ルパン三世・カリオストロの城	宮崎　駿 山崎晴哉

●スペシャル

—	—	ルパン８世	金子　裕

TWOSOME

ルパンとクラリス。宮崎駿の絵コンテより２人の心の交流をみてみましょう♥



絵を切り取ると、裏のポスターがパズルとして遊べます。



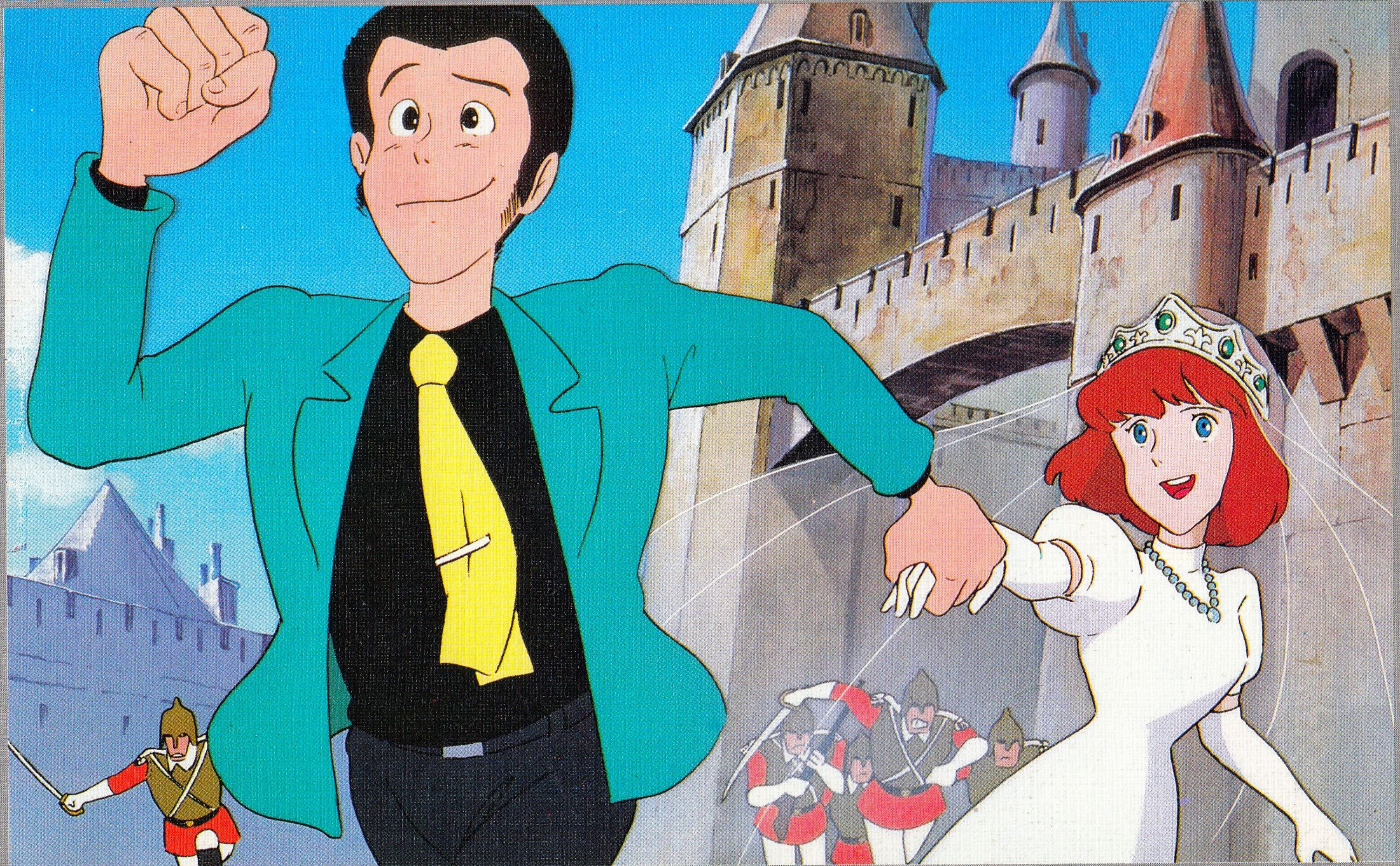
それは、まだ続いていた。場所と時を越え、さらに食べ物を変えて……。ああ、おぞましきは〝食欲〟

SUKIYAKI WARS



第145話「死の翼アルバトロス」より

LUPIN THE THIRD



昭和58年 6 月10日発行（毎月 1 回10日発行）第 6 巻 6 号付録　昭和57年 6 月15日国鉄首都特別扱承認雑誌第6262号

Animage '83・6月号第 1 ふろく